

11、後遺症対策として政府に求めることはなんですか？

年齢	期間	
40代	1か月～3か月	後遺症により働けなくなった人への支援をして欲しいです。
20代	1か月以内	経済的支援、コロナ後の体調不良も医療費無償にしてほしい。もっとこの辛さを理解して欲しい。
60代	半年以上	全国の実態把握
60代	半年以上	まずは国が新型コロナ後遺症に苦しむ患者の実態を把握してほしい それがないと保証や援助などに進まないから
40代	半年以上	医療費の保険適用
40代	半年以上	治療薬の開発と、医療費支援(無償化)
10代	1か月～3か月	学校などへの、空気清浄機や中性能フィルター、co2モニター設置など 海外の真似をしてマスクを外そうと言うばかりで、海外では当たり前に行われている、 換気システムの設置がされていません。 一人でも罹患する人を減らす方法を求めます。
40代	1か月～3か月	区別なく公平な医療の提供、正しい情報の発信、社会的保障。
40代	半年以上	コロナ後遺症への補償を。 休職、失業したときの補償を。
30代	1年以上	後遺症をきちんと見てくれる病院リストを作って欲しい。1番は周囲に後遺症がある ことをもっと周知してほしい。
40代	1年以上	コロナ後遺症の診療報酬改定と働けなくなった人への日常生活支援。旅行支援 は元気な人が経済を回せば良いという切り捨ての考え。
30代	1年以上	後遺症患者の経済的支援、就職や復職などに関する支援
40代	1年以上	検査費の研究
10代	1か月～3か月	まず、後遺症があることを認めて、どの程度後遺症で苦しんでいる国民がいるのか、 調査して国が把握して欲しいです。まずそこから。 それさえ始めていない政府に大変失望しています。緩和とか言っている場合ではな い。
40代	3か月～半年	コロナ後遺症に移行しないための社会づくりをお願いしたいです。コロナ感染から2ヶ 月は無理をさせてはならないことを職場や学校に周知させること。職場や学校全体 でコロナ後遺症に対する知識と理解を深める機会を設けること。コロナ後遺症患 者を診察・治療できる医師や診療所を整備すること。労災申請に職場が協力する こと、協力しない職場には罰則を設けること。コロナ後遺症患者が社会復帰する際 の職場の紹介。 そして、感染拡大はコロナ後遺症に移行する患者を増やすことになるので、いま一 度正しい感染対策を徹底させてほしいです。 コロナの再感染は生命に大きく関わります。
20代	半年以上	後遺症数を把握して後遺症外来を増やしてもらいたい。 経済的援助もしてもらいたい。 後遺症になると働けなくなる人がほとんどなので。 学生も学校に行けなくなるので学校に後遺症のことを周知してもらいたい。 会社も後遺症を周知して復職できるようにしてもらいたい。

年齢	期間	
40代	1か月以内	後遺症の実態を広める 経済的に支援してほしい
30代	半年以上	どの病院でも診てもらえるようにしてほしい。 ガイドラインを作成してほしい。 もっとメディアで取り上げてほしい。
10代	半年以上	後遺症の原因、治療法の確立、学校の進級、進学を諦める事のないように制度 を早急に変えてほしい！
50代	1年以上	公的機関の治療費補助、税金の一時的な免除、自治体での後遺症で悩む人の 実数把握の全国的な動きを求めます。
10代	1か月～3か月	政府は後遺症について軽く見すぎだと思います。 家族は嗅覚障害のみでしたが、匂いのない生活は相当ストレスになります。 もっと酷い後遺症の方も数多くいらっしゃいます。 感染放置をする政府の責任は重いです。 もっと真剣に後遺症に向き合って改善して下さい。 現在後遺症外来は僅かです。 岸田総理も後遺症で鼻の手術された可能性ありますよね？ 総理が受けられた待遇を国民にもお願いします。
30代	半年以上	後遺症というものが、そもそも知られていない。具体的な症例を挙げて、私たちの存在 を可視化してほしい。
50代	半年以上	経済的支援と補償
40代	半年以上	test-to-treatの仕組みが整っていないと、後遺症にならないよう治療できず、後遺 症なのかも分からない。そして、そもそも国が未知なウイルスを軽視し過ぎていて、無 駄に複数感染すると免疫不全の恐れもあるので、マスクを個人の判断とするなら、 感染によるリスクを国民に周知するべきだと思います。
30代	半年以上	きちんと後遺症の全数の把握をしていただきたい。また、労災で受けられる病院を 増やしてほしい。 また、後遺症で苦しんでいる医療者に対する支援を何かしらしていただきたいです。
30代	半年以上	後遺症を診れる医師の支援、診療報酬の見直し、失業している後遺症患者への 支援をお願いします。
40代	半年以上	まずきちんと実態を把握していただきたいです。どれくらいの人(人数)がどんなことで 苦しんでいるのか。そして回復せず失業や退学を強いられた人への支援を求めま す。
40代	1か月～3か月	明らかにコロナが原因の持病の悪化等には素早く医療に繋げて、医療費負担をし て頂きたいです。 緩和というなら、そういう保障もして欲しいです。
40代	3か月～半年	治療費が高額になるので公費負担にして欲しい 診療報酬を上げて治療してくれる医療機関を増やして欲しい 社会の認知の向上
10歳未満	半年以上	後遺症がある、と周知すること。未だに後遺症なんか無いという医者があると聞いて います。 5類だから無理だろうし、する気もないだろうけど、コロナ後遺症にも補助を。補助す るとしたら医療機関に「コロナ後遺症と診断するな」みたいに圧力もかけないで。

年齢	期間	
40代	1年以上	金銭的な支援と治療薬の開発
20代	1年以上	経済的支援、理解を広めてほしい
40代	1年以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染リスクを極力ゼロに近づけてほしいです。特に子どもが私と同じような後遺症になったら…と思うと、本当に絶望すると思います。</li> <li>・少なくとも、新型コロナの政策は、後遺症のリスクまで念頭に置いてほしい。欧米の指標を見ても分かるように、国家経済的にもかなりダメージが長期的に生じる可能性が高いです。</li> <li>・後遺症治療の診療報酬を上げてほしいです。そうすれば、やる気になる医師がもう少し増えると思います。</li> <li>・後遺症治療の研究に予算を割いてほしいです。</li> </ul>
40代	半年以上	難病指定もしくは障害認定を早急に。
20代	1か月～3か月	通院治療費、精神的なケア、後遺症外来の増設
10代	半年以上	<p>まず、後遺症になったのはPCR検査してもらえず、受診もできず、初期にほったらかされたからです！！とんでもない話です。未来を背負って立つ若者、私が命懸けで大切に育ててきた息子がこんな目に遭って、本当に絶望と怒りしかありません。政治家たちは、すぐにPCRして抗ウイルス薬のんで治りますね。同じことをうちの息子ができないのはなぜですか？説明してください。</p> <p>私はこれまで億単位の税金を納めてきましたが、この扱いは何ですか？誰のための税金ですか？困ったときにはほったらかしですか？少子化対策するなら、なぜ今いる子供、若者を大切にしないのですか？</p> <p>政府は国民を殺しにかかっているとしか思えません。そうなのですか？後遺症患者の数も把握していないそうですね。後遺症研究費はたったの3億？コロナ対策は100兆円？コロナ対策に後遺症対策は含まれないのですか？</p> <p>うちは母子家庭で、私も後遺症です。昨年夏から働けなくなりました。このまま復職できなければ、詰みます。それまでほったらかしにされるのですか？息子の将来はどうなりますか？</p> <p>吉良さん、もっともっと声をあげてください。吉良さんが頼みの綱です。できることがあれば、協力します。</p>
40代	半年以上	<p>経済的支援につきます。</p> <p>体もきつく働けない中、回復することだけを考えて安心して生活できる様にして欲しい。</p> <p>また休職中に職を失ってしまわない様にする仕組みや、退職した方々がまた働ける様になった時の就職の支援などがあると助かります。</p>
30代	半年以上	<p>後遺症の周知、慢性疲労症候群の周知 慢性疲労症候群の研究、治療法の確立</p> <p>後遺症になるまで、ワクチンを打っていて、年齢も若く、基礎疾患もないので、まさか自分になるとは思ってもいませんでした。</p> <p>そして、後遺症を発症してしまったその瞬間から何もできなくなり、動けなくなり、人生が変わってしまいました。</p> <p>ここまでの後遺症になる人がいるということをもっと周知してほしいです。</p> <p>経済を回していかなければいけないという面もちろんありますが、後遺症の悲惨な実態をありのままに知らせることも必要だと思います。</p>
50代	1年以上	治療費全額負担をお願いしたい

年齢	期間	
20代	1年以上	治療費の公費負担や、失業や休業などに対する給付金などの経済的な支援を強く求めます。 また、ワクチン後遺症(長期副作用)で苦しんでおられる方も大勢いらっしゃいます。そのような方々に対しても、同様に経済面の支援が必要であると考えます。
10歳未満	1か月以内	後遺症がどういうものか、周りの理解 学校の理解
30代	半年以上	しっかりとした援助、支援の実施。 (貸付ではなく給付) コロナに効果的な治療薬の提供。 (以前は出るはずが頓挫した)
60代	1年以上	後遺症患者に対する全員調査、研究費の拡大、医療機関の拡充及び、診療報酬の見直し。 薬の開発。困窮家庭と医療費に対する助成金。
40代	3か月～半年	鍼治療や漢方治療など自由診療での治療が多いため、保険適用にするか補助の仕組みが欲しい。 傷病手当金はありがたいが、上記の治療を受けるうえでは赤字になる。 後遺症外来の看板を掲げていても雑な診察心無いことを言う医師もいる。私は運良く親身に診てもらえる医師に出会えたが、患者が集中しており当該医師がいつ倒れてもおかしくないくらいの繁忙状態。 本当の意味でしっかり診察できる病院を増やしてほしい。 これだけ広まっている感染症の後遺症の患者総数を政府が把握できないはずがないと思う。実態をしっかり把握してほしい。
50代	1か月～3か月	後遺症の専門外来や相談窓口を設置してほしい。 医療費に補助金を出して欲しい、
30代	半年以上	後遺症への理解の促進、後遺症・治療薬の開発、医療へのアクセスの整備と治療、職場への啓蒙、医療費等控除や公費負担など
10代	1年以上	無期限の生活保障、勉強が遅れた学生の支援(ワクチン長期副反応に対しても)
40代	1年以上	感染者数やワクチン接種のことだけではなく、後遺症患者数をもっとはっきり把握して、経済的援助など安心して生活し、治療を受けることが出来るように配慮してもらいたい。
40代	1年以上	生活保障。後遺症を診察できる病院の拡大。 後遺症に対する診療報酬の改善
40代	1年以上	とにかくまずは一刻も早い経済的支援と後遺症を診る医療機関が全国に増えてほしいのです。その為には診療報酬を上げる必要があると思います。また会社や学校など、社会全体の理解を強く求めます。後遺症で人生が変わってしまう事はまだまだ知られていません。
30代	半年以上	・後遺症の認知度を上げ、復職時の偏見などなくしサポートを受けやすくする。 PEMの理解。 ・医療費補助。 ・rTMS治療の保険適用。 ・重症者への障害者認定。 ・学生への支援。 ・復職支援。

年齢	期間	
10代	1年以上	コロナ後遺症やワクチン後遺症を認め、全国に伝え、後遺症で苦しむ人に早急に後遺症外来を増やし、費用を負担すべき。
10代	3か月～半年	後遺症の治療の研究費をもっと予算に組んで、一刻も早く治療薬の開発をお願いしたいです。
40代	半年以上	コロナの後遺症を認めて欲しい。後遺症の段階に応じて、必要な生活の補助を受けれるシステムを作って欲しい。
40代	1年以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後遺症者の医療費負担を減らすか無くして欲しいです。</li> <li>・働く事に関してフルタイムや縛りのある働き方以外の自由に働ける選択肢を示して、きちんと賃金や税金免除などして欲しいです。</li> <li>・世の中に新型コロナ感染後遺症で苦しんでいる人たちがたくさん居ることをもっともっと知って欲しいです。</li> </ul>
50代	1年以上	感染者を少しでもへらす対策をしてほしい。本人もつらいかもしれないが、家族もつらい。少しでもこんな状態の人を増やしてほしくない。
40代	1年以上	まず、アンケートをとって欲しい。 そして経済的支援を希望します。
30代	1か月～3か月	まずはコロナ後遺症を理解して頂きたい。経済支援とまでは言いません。ただ、医者に暴言を吐かれて、泣くことは2度とたくありません。
10代	3か月～半年	学校への対応を公立、国立、私立関係なく一律に通達してください。学校により全く対応が違います。子供たちは必死に体調も悪く、無理に通学し、寝たきりになる事もあります。
10代	半年以上	マスクを外させるな。 コロナは世界一危険だし、終わってないです。 これ以上、犠牲者が出不ない為にもマスクの義務化をよろしくお願いします。
40代	1か月～3か月	理解を。共産党さん頑張って説明してください。
30代	半年以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金の手配:自分の場合はまだ傷病手当が出る期間内で復職ができたが、それでもリハビリ期間は欠勤扱いで収入・日常生活にもかなり負荷となった。症状が長引き退職する人や、十分な手当を受けられない人の話もよく聞いているため、ある程度治療費などを補助してほしい。</li> <li>・病院の整備:治療が十分にできるよう医療機関へのサポートも進めてほしい。治療が受けたくても受けられない人を少しでも減らしてほしい。</li> </ul>

年齢	期間	
40代	半年以上	<p>コロナ後遺症に重症者がいることを認識してほしいです。コロナ後遺症の患者の一部は、慢性疲労症候群(筋痛性脳脊髄炎)と類似した症状を呈しています。寝たきりや半寝たきりで、常に悪化のリスクに晒されてながら生きている深刻な実態を理解していただきたいです。</p> <p>このような患者が増えることが大きな社会的損失であることを認識していただきたいです。いまだに、コロナ後遺症患者の実態把握が国レベルできちんと行われていない現状は、大変問題だと思います。</p> <p>問題の根本的な解決は、疾患の原因究明と治療法の確立以外にありません。アメリカでは、既に国が予算をつけて後遺症の研究に取り組んでいます。日本においても国が主導し、大規模な予算をつけてコロナ後遺症の研究を進めていただきたいです。</p> <p>また、根本的治療法の確立までの間、後遺症患者が後遺症を抱えたまま、社会活動ができる仕組みが必要と考えます。リモートワークのみでの勤務を可能にするなど、コロナ後遺症に罹患した者が働き続けられるような働き方の配慮を企業等に要請ないし義務づけていただきたいです。</p> <p>重症者は実態としては障害者と同等の支援を必要としています。手帳や年金の取得をコロナ後遺症でも認めるか、既存の障害者支援の枠組みでなくとも、同等の支援を受けられるようにしていただきたいです。</p> <p>アメリカ、ドイツでは、後遺症研究に予算をつけて取り組んでいます。フランスではコロナ後遺症の治療体制に関する法律が制定されています(これを具体化する政令の制定に行き詰まっているようですが)。後遺症に対する国レベルの取り組みで日本は遅れていると言わざるを得ません。</p>
10歳未満	半年以上	<p>医療に繋がるよう各市町村は無理で有っても数箇所は認定病院を制定してもらいたい。</p> <p>それと、うちの息子は幸いにも学校には行けていますが、後遺症により行けない子の追跡調査と様々な支援が必要だと思います。</p> <p>こんなにも人が亡くなり、こんなにも罹患し後遺症に苦しむ人が多くいるのに全数把握もしていない無責任な政府、コロナはもはや人災だと思っています</p>
40代	半年以上	医療費と生活支援
30代	3か月～半年	<p>まずは感染対策をして欲しいです。感染対策は後遺症患者を減らすことにもつながると思います。</p> <p>後遺症を見ないふりしないで欲しいです。政府は感染者を増やすようなことばかりしているのが辛いです。後遺症のことをもっと発信して注意喚起していただき、休業補償や治療、研究も絶対にお願ひしたいです。</p>
40代	半年以上	休職や失業された方たちへの生活支援や、後遺症の治療法の研究など厚労省等に働きかけていただきたいです。
40代	半年以上	コロナ後遺症患者を救うための予算を計上して欧米と連帯して解決する治療を施すこと。
30代	1年以上	後遺症がまだ治りません。治療方法や薬の研究を進めてほしい。
40代	3か月～半年	経済的支援、コロナ後遺症に対して社会が理解を深める対策
20代	1か月～3か月	1.まず後遺症(longcovid)があると認める(特に免疫、血管、臓器への長期的な影響) 2.withコロナと称して後遺症を放置した方が経済へのマイナス(働けない、医療費かかる)大きいと気づく 3.自費検査で感染わかる→その後後遺症に、といった人の後遺症の認定
10歳未満	1か月～3か月	やっтерることがチグハグで、辛い思いしてる人の救済もなく、あげくマスクなども個人の判断に委ねて公衆衛生無視で政府の言うことを誰が信用するのか。

年齢	期間	
50代	半年以上	会社に対して時短などの理解を進めること、患者への経済的支援、治療法開発の推進。
40代	半年以上	難病治療としての対策
10代	3か月～半年	検査の拡充、選択制登校、体調悪ければ出席扱いのリモート教育の保証、感染対策のための換気、検査と隔離の徹底
20代	半年以上	適切な受診可能な病院等の拡充、医療機関はじめ国民の後遺症への意識の改革、医療費等の経済的支援、休学休職になった場合の社会的救済措置等
50代	1年以上	経済的支援
80代以上	1か月～3か月	コロナの病態をしっかり学んで欲しい。科学的根拠に基づいた予防策の徹底と周知を求めます。
50代	1年以上	速やかなPCR検査。各都道府県の市町村単位での後遺症外来の設置。治療薬、治療方法の開発支援。ワクチン接種一択の対策費用の見直し。換気システム導入支援。高性能マスクの無償配布。医療機関の検査拒否、受信拒否について法的な罰則制定。検査や医療機関の受診拒否された人々の速やかな救済措置。
40代	半年以上	コロナ、ワクチン後遺症を認めて欲しい。そして医療費、生活費の支援を。
40代	半年以上	感染予防と後遺症患者への医療と経済的支援
50代	半年以上	とにかく信頼できる医療機関の拡充 治療薬の研究
40代	半年以上	後遺症の診断に対する保険の点数が少なすぎて、よくして下さるクリニックが苦境だと聞いています。改善してもらいたい。
30代	半年以上	お金の支援、就職支援
30代	1年以上	まずはこれ以上感染を拡げるような安易な政策は考え直してほしいです。そして、多くの人が迅速に正しい情報入手し、治療を受けられるようにしてあげて欲しいと思います。
30代	1か月以内	後遺症の検査費用の補助、後遺症外来を増やす、後遺症の周知
60代	1年以上	指定難病のような枠組みを作ってほしい。
40代	1か月以内	そもそもコロナで医療機関にかかりづらいのもおかしいし、後遺症専門外来や、症状別治療法の手引きなど一般市民にも情報を出して欲しい。
40代	半年以上	喘息の時みたいに 後遺症用の保険証を発行してほしい
40代	1年以上	経済面の支援と後遺症をもっと真剣に考えてほしい。後遺症をみてもらえる医療機関増やすことと、後遺症をみている数少ない医者へのバックアップをお願いしたい。
40代	半年以上	働けないレベルの人に対しては障害年金の支給を、認めて欲しい
30代	1年以上	後遺症患者へのヒアリングをしてほしいです。各患者にとって有効だった治療法の統計をとって欲しいと思います。

年齢	期間	
10代	3か月～半年	金銭的援助と、学生の場合は学業に対しての何らかのサポート、というか進学に対しての優遇的措置
30代	1か月～3か月	後遺症の存在の周知と記録
20代	3か月～半年	生活の保護は大前提として、後遺症の原因を究明し迅速に治療法を定めそれを国として研究機関や医療機関、患者への支援を求める
40代	1か月～3か月	理解を示してください。
20代	半年以上	国民の後遺症患者への理解を深める。 治療法の研究。 治療費の支援。 生活の支援。
50代	1年以上	後遺症対策にもっと力を入れて欲しい。原因究明、検査方法の確立、治療方法や治療薬の開発など。アメリカでは後遺症対策の予算は1300億円だそうです。日本は2億円。余ったアベノマスク保管のための倉庫代1ヶ月分くらいでしょうか。情けなくて涙が出てきます。
30代	1年以上	後遺症の実在することを今一度深刻に世に知らしめ、現在クリニックの経営状態や自身の健康を害するレベルで後遺症患者を救ってくださっている医師の皆様の負担が減るよう、全国への対応病院の拡充。
30代	半年以上	10の問いでも回答しておりますが健康保険、年金、税金など、傷病手当だけでは支払えないのです。労災も認めるまでに時間が掛かる、クラスター発生したかなど問われ、なかなか認めてくれないため、傷病手当を薦められるのです。 また、失業などの期日も迫られます。 会社からは働けない人間は不要かもしれません。けれど、医療従事者としてワクチンも先行して打ちました。この時も逆流性食道炎様な症状に数ヶ月なり受診をしましたが、後遺症かもしれないなどは政府は決して発信してはくれませんでした。とりえず逆流性食道炎が治まるまで内服薬だけもらい、以来ひたすら何度も何度もワクチンを打てしか言いません。 後遺症についてはなんの援助もないのに何故税金ばかり取るのでしょうか。
30代	3か月～半年	後遺症の治療の研究にもっと予算を当ててほしいです。この先、コロナに罹ることはほぼ避けられないので、後遺症で苦しむ人は増えていくと思います。
40代	1か月～3か月	・後遺症治療の診察報酬を上げること。 ・コロナ後遺症があることを認め、後遺症治療の研究を進めること。
50代	1か月～3か月	医療費の負担を少なくして欲しい 休んだ日の補償をして欲しいです
40代	半年以上	医療費の補助
30代	半年以上	後遺症は長い疾患です。コロナ後遺症での医療負担を軽減できる様にした方がよいです。 後遺症診断が続く間は障害者年金の様に生活支援が必要だと思えます。(仕事されていた方)
30代	3か月～半年	後遺症があるということをまず認識してほしい。 医師に後遺症治療に関して知らせてほしい。 そしてその症状改善方法に関する研究をしてほしい。(研究するところに助成金など出してほしい) 後遺症治療に関して保険点数をきちんとつけてほしい。

年齢	期間	
20代	半年以上	金銭的援助をお願いしたい。 もっと多くの人に後遺症の実態を理解してほしい
40代	半年以上	大規模な実態調査と支援
20代	1か月～3か月	お金の事、後遺症への理解を広める
30代	半年以上	後遺症外来の拡充、治療方針を正確にすること。 後遺症患者の社会的保障。(休職したにもかかわらず治療費は半年で35万かかりました)
40代	半年以上	お金の援助 診療報酬を上げてください。 診れる病院の確保 職場への理解
40代		実態把握と後遺症の類型化、効果的な治療方法などの情報開示。場合によっては対象治療の保険適用見直しをおこない、これによって医療費増大とならないように他の高額保険償還価格の見直しも並行して実施いただきたいです。
10代	1か月～3か月	全体数の把握。原因追求。治療方法探求。地域医療の拡充。
30代	1か月～3か月	医療機関の後遺症への取り組み、経済的支援
40代	1年以上	治療法の模索にも補助を出すことを含めて、とにかくお金
40代	半年以上	後遺症外来の充実。治療法の確立。
40代	半年以上	学校のクリアウインフィルター設置です。あと、自由にPCR検査ができること。子どもにはリモート授業の許可、子ども専用のリモート診療や医療拡充。一人も死なせないで欲しい。これが社会のコロナ対策の要になると思います。
40代	半年以上	まずは、現状調査をして欲しい。自分が2ヶ月後に症状が出たように、何ヵ月後数年後に出るものもあるかもしれない。長年のスパンの研究を続けて欲しいです。
40代	1か月～3か月	後遺症の原因追及と、その治療法の開発。
40代	1年以上	経済的支援、治療法または治療薬の研究
30代	1年以上	いち早く治療費の補助、各職場での休職期間の見直しを検討してほしい
50代	半年以上	治る見込みが分からず、大変不安だったので、コロナ後遺症の補償がほしい。
40代	半年以上	経済的救済
30代	1年以上	後遺症を調査し、後遺症の救済制度を作ってください！
10歳未満	3か月～半年	こどもの後遺症の調査をしてください。また、後遺症の救済制度を作ってください。
30代	1年以上	後遺症に対する認識を広めること。受信拒否や放棄といった対応の改善。保険診療の適用範囲拡大。
10歳未満	1年以上	子どもの後遺症を調査し、治療法を確立し、認知度を高めて欲しいです。また後遺症の救済制度を作っていただきたいです。
10代	1年以上	現状再感染によりブレインフォグの症状が新たに出了。コロナを蔓延させないことが第一の後遺症対策と考える。

年齢	期間	
50代	1年以上	ちゃんとコロナ後遺症を皆さんに理解して貰えるようにしてほしい。
10代	1年以上	学校現場の理解促進を早急に進めてほしい。
50代	1年以上	後遺症治療の確率とアクセスをしやすくしてほしい
20代	1年以上	後遺症に効く薬の開発を進めて頂けると幸いです。
30代	1年以上	原因と治療の研究にお金を使って欲しいです。
40代	3か月～半年	理解、認知度を高めて欲しい。後遺症外来を増やして
40代	3か月～半年	後遺症治療に関する有効な治療法の早急な確立。 後遺症の従業員がいる場合の雇用主への手当支給。 就労不能な後遺症患者へ対する給付金支給。  このような機会をありがとうございます。 先生の活動に期待しています。
20代	半年以上	コロナ後遺症の治療法の確立のために予算をつくること。医療報酬を上げることで、医師がコロナ後遺症の治療に集中できるようにすること。
40代	1年以上	感染時に検査を受けられなかった人への公的な感染履歴証明ルートを確認して欲しい 町医者には後遺症かどうかの認定を丸投げしないで欲しい。当たり外れが大きすぎる。鼻で嘲笑う医者に当たって累計何万円も支払わざるを得ないのは、わかっても死にたくなる。治療費を払うのは納得出来ても、嘲笑されるために診察費払うのは納得出来ない 継続治療が町医者の領域なのはわかるが、私は安直な漢方で悪化したのでセカンドオピニオン割引がほしい。東大出の優秀な専門医でも、東洋医学やってない人の出す漢方薬は危ない(今は北里で研究してた漢方専門お医者の治療で快方に向かっていますが、これは準都心エリア住みだからで、田舎だと悪化で家から出られなくなった時点で詰みます
20代	1年以上	まず、長期、重症のコロナ後遺症患者の実態把握と研究促進を求めます。(コロナ後遺症の場合、1～2ヶ月程度で治る人も多いですが、救済すべきは長期重症患者です)  次に治療費用の軽減策を求めます。  ぜひ連絡いただけたら、具体的にお伝えしたいです。
20代	半年以上	後遺症の研究、医療費負担
30代	半年以上	社会に周知徹底してほしい。休職期間を融通をきかすよう企業に求めてほしい
10代	1年以上	経済的支援。後遺症の人の会社、学校の理解と特別措置
50代	3か月～半年	難病指定して、経済支援してほしい。
50代	半年以上	治療方法の研究をしてほしい

年齢	期間	
20代	半年以上	<p>上記のように、後遺症を診てもらえる病院を増やすこと、鍼灸等の治療法も保険適用とすること。</p> <p>また、後遺症の症状や治療の必要性への理解が社会的に薄いと感じます。職場からも復職を急かされたり、周囲の友人達も後遺症がどのようなものか知りませんでした。後遺症が悪化すると更に深刻な病気に移行する可能性があるため休んでいると、職場には伝えました。国民の後遺症への理解を深めるよう尽力していただきたいです。</p> <p>コロナが5類になりマスクを外してもコロナの感染力は変わりません。これからも誰が後遺症になってもおかしくないのです。後遺症は長期に渡り働けなくなる病気です。若者もなります。このままだと、後遺症患者は増え続け、労働人口は減り更なる人手不足となり得ます。</p> <p>政府の中で対策を練っていただき、必要な支援を必要な人に届くようにしてください。また、国民全体へ理解を促してください。よろしく願いいたします。</p>
20代	半年以上	保険治療の充実
50代	1年以上	生活困窮支援(治療)支援・給付金
30代	1か月～3か月	後遺症の実態を把握し、早急に治験を積極的にすすめ、後遺症を病気としてみれる、診断ができる医師、病院を各地方に配置して欲しいです。その上で県や市に後遺症窓口を設置するよう促して欲しい。
30代	1か月以内	コロナ禍前の風邪やインフルエンザと同様に扱い、特別な制限をなくしてほしい。
40代	半年以上	有効な治療法の模索と、あと後遺症を認めて欲しい。経済的な援助も求めたい。
40代	半年以上	長期間歩けない患者には、身障者手帳なくてもタクシー代補助してほしい。
20代	1年以上	診療報酬の改定、治療の研究への支援、患者への支援(コロナ以前からある制度だけでは対応しきれていないので、難病指定や障害年金から漏れる人への支援等)
40代	半年以上	<p>治療法、治療薬の開発に全力で取り組んでほしい</p> <p>安心して治せる補助をお願いしたいです</p> <p>後遺症の認知を高めてほしい</p>
50代	1年以上	<p>コロナ禍当初に感染したが、PCR抑制政策により検査できず。各種検査で除外診断の上、後遺症専門医により典型的コロナ後遺症と診断された。あれだけ検査抑制しておいて、そこから漏れた患者には何の対策もない。行政や福祉その他相談機関に相談しても「医師の診断書が無ければどうにもならない」「PCR陽性患者しか受け付けない」「分からない感染症だから仕方ない」「変に医師に圧力をかけるな。信頼関係を気付いて医師に来てもらっているのに」等々の返答しかなく、何も役に立たなかった。共産党を含む政治団体にも働きかけたが、何の返答もない。</p> <p>また、2020年からオンラインで受診していた東京のヒラハタクリニックは、患者で溢れすぎ、昨年より受診が非常に難しくなった。診療報酬が低すぎて、クリニックの経営自体が厳しいとも聞いている。</p> <p>もっと後遺症の受け皿が必要。</p>
40代	半年以上	治療費の補助、後遺症の治療に結びつく研究、CFS/MEを難病指定、就業補助(完治はしないようなので、復職してもぶり返す可能性がある為。)

年齢	期間	
10代	1年以上	①後遺症患者に対する、医療補助 ②後遺症の子供に対する学びの保障、具体的な支援(加配の先生、退学にはしない、オンラインで単位出席可能、試験時間配慮など) ③後遺症患者に対する社会福祉制度の適用 ④後遺症に知識詳しい専門医の育成と専門的な医療体制づくり ⑤後遺症患者全員の検査や経過観察、治療の経過を丁寧に観察集計し、原因の解明や治療に早期につなげる研究
40代	半年以上	国全体の患者数の把握。 治療薬を使用した場合の後遺症の発症率を追跡調査してほしい。
50代	半年以上	まず、ワクチンを止める事 無類にする事に ワクチン後遺症を認めて治療法に専念して欲しい 後遺症患者には救済制度を！
50代	3か月～半年	社会的な認知の促進、原因究明のための研究、保険
20代	1年以上	まずは大前提、感染者を増やさないこと。感染者数が増えると基礎疾患ない若い人でも私のようになる人が増える。後遺症外来を地方にも作って欲しい。経済的にもかなり深刻なので給付金などがあるとありがたい。
50代	3か月～半年	(1)所得制限のない後遺症支援を。高所得者はそれだけ多くの税金を払ってきたのにいつも対象外にされるけど、それはおかしい。(2)それからどの病院でもまともな後遺症治療受けれるようにしてほしい。数が少ないし、後遺症なんて気のせいと患者を傷つける医者が多すぎる。(3)後遺症の診療報酬をあげてあげてほしい。(患者負担でなく国が補助して)後遺症は症状が多岐にわたるので診察に風邪の4-5倍の時間がかかります。まともに後遺症外来やったら赤字になるって適切な所にお金が回ってない証拠。  経済回すのには働ける国民が必要でしょ。今のままでは働けない人だらけになり国はますます衰退していきます。インバウンドだけに頼るのは危険すぎる。
30代	3か月～半年	千葉県松戸市は後遺症パンフレットをつくるなど、外側から見ると対策をしているように見えますが、実態は、相談窓口で電話しても、「ぜひ病院にいらしてください、病院は自分で調べてください」と言われるだけ。情報として患者が得たいものは何も教えてくれませんでした
40代	1年以上	早期対策と保障
50代	3か月～半年	全額とは思わないがある程度の医療費負担と治療法の早期解明
40代	1年以上	社会への認知の啓発活動。後遺症治療にかかる費用の補助。
10代	半年以上	ワクチンキャンペーンをやったのと同じように、後遺症理解キャンペーンが必要。医師を含め、社会が「後遺症など存在しない」と断言してしまう現実がある。患者の絶望感を想像してほしい。医者や社会に理解されてこそ安心して治療に専念できると思う
30代	半年以上	後遺症外来と名前のある病院でも、問診だけで検査もしないで漢方だけを処方されるだけでは体調は改善されません。しっかりとした治療方針を示してほしいです。
10代	1か月～3か月	倦怠感が出た後無理をしない。など、悪化させない対処法を周知させるとともに、後遺症で苦しんでいる人への理解を深めることができるようアナウンスしていく。

年齢	期間	
50代	1年以上	コロナに罹患したことはわかってもらえるが、後遺症は人それぞれ発症時期、内容、重さなど違うと言うこと。本人の怠けでなっているのではないと言うこと。改善や寛解も人によって違う。ほぼ無知な医師もいる。 私は、区役所で生活保護をすすめられて申請できました。節約してギリギリ暮らせています。生活保護の利用も知らせてほしい。
30代	半年以上	休業中の手当
10代	半年以上	経済的支援 学校支援 あと、介護休暇など認めて欲しい
40代	1か月以内	コロナ後遺症の周知。保証を求めます。
20代	半年以上	コロナ後遺症の人がどれだけ苦しんでいるかを国民に広めて欲しい。
20代	半年以上	支援金。世間への認知。メディアへの呼びかけ。
50代	1年以上	後遺症の研究費増額。 後遺症を診てくれている医療機関への経済的援助。 自治体の感染者LINEなどを通じての大規模な後遺症アンケート調査。 コロナ、後遺症治療が未確立の間は難病などと同じように、患者達への医療的経済的支援。 後遺症対処療法に沢山の東洋医学の先生も力になってくださっているが、患者は東洋医学系は保険適用が少なく、経済的に利用出来ないのではなにかならないか。 後遺症患者だけではないが、そもそも治療を抱えた患者への、介護保険利用は無理？ 国保市民税減免、生活保護など積極的に利用しやすくしてほしい。 退職後の傷病手当の利用では、1日でも働けば、その後利用できない。が、後遺症の社会復帰は急にフルに働いたりとはできない。在職者は会社と相談しながら、勤務体系と体調をすり合わせながら、ぶり返し休職となれば、対象期間内であれば又制度は利用でき、理にかなっていると思う。継続傷病手当にも同じような条件にできないのだろうか。
30代	1年以上	経済的な支援
40代	1か月以内	他の怪我や疾病と同じにしてほしい。特にコロナは風邪なので特別な救済として税金の投入はやめていただきたい
40代	1年以上	特効薬の治験や研究を推進してほしい。
30代	1年以上	後遺症の事をもっと知っていただき診察していただける病院を増やしてほしい。体位性頻脈症候群かもしれませんのでこちらの病気をもっと医者にも知ってもらいたい。マスクをしていてもおかしいと思わない夜の中にしてほしい。
40代	1年以上	医療機関の紹介と、後遺症に成らない様な治療の研究に対して補助して治療の確率上げてほしい
40代	1か月以内	後遺症外来をもっと多くして、治療する方法もしっかり研究してほしい。コロナ自体の苦しさより、後遺症で苦しんでいる人の方が多いので政府にはよく考えてほしい。

年齢	期間	
30代	1年以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国の後遺症患者の実態把握</li> <li>・後遺症支援に対する地域間格差をなくすこと</li> <li>・後遺症治療の診療報酬を上げること</li> <li>・労災や傷病手当とは別枠の後遺症患者に対する経済的救済措置の確立</li> <li>・コロナ関連の特別な制度について自治体へ徹底周知すること</li> <li>・後遺症患者が社会へ復帰する際のサポート制度の確立</li> </ul>
50代	1年以上	この病気の研究費用が不足している。
50代	1年以上	<p>もうすぐ感染してから2年になります。まだ半寝たきりです。治療薬も無ければ治療してくれる病院も少なく理解ある医者も少ない状況です。難病指定にしてください。</p> <p>医療費ばかりがかかって生活に困窮しています。経済的支援をお願いします。寝たきりで動けず頼る身内がいないと食事も満足にできずただ天井を見つめて寝てるだけです。ヘルパーさんなどの支援をお願いしたいです。</p>
10代	3か月～半年	後遺症外来にメリットがあると思えない医療機関が多いとしか思えない。そのような状況を作らない体制を整えて欲しい。国として罹患者数や状態の把握して欲しい。個々の病院ではなく、情報共有し、治療法をとにかく見つけて欲しい！
20代	1年以上	有効な治療と、生活治療面の支援
50代	1年以上	<p>まず現状を把握するところから。</p> <p>国民の理解がすすむような啓蒙活動。</p> <p>後遺症患者への経済的支援(早急に)</p> <p>隣に座っている人がもしかしたら後遺症患者かもしれない、という思いを念頭に、マスクを外すかどうか議論して欲しい。</p>
30代	1年以上	支援、生活面の補償

年齢	期間	
30代	半年以上	<p>PS(Performance Status): 0が症状なし、9が一番重い。</p> <p>筆者はPS8からはじまり半年で現状PS3程度:</p> <p>PS7-8 ベットから基本的に全く動けず家事全くできず、通院も困難なため、要介護の高齢者の支援制度を参考に、自宅への医者往診・鍼灸師の派遣、家事代行サービスの公的支援の拡充、車椅子や介護用ベッドやお掃除ロボットの貸出支援、あるいは療養施設への入院斡旋支援。コロナ患者の隔離施設のように、食事が届けられるものを想定。</p> <p>PS5-6 通院がなんとか可能ではあるが、歩行や電車内等で立ち続けることが困難なため、タクシー利用がほぼ必須。自動車運動も困難。しかし、Bスポット治療など、定期的な通院で通院回数が多いため、タクシー料金が大変に多くかかる。タクシー料金の割引など公的支援を。医療費も通院が増えるほど、月数万円単位でかかることも多い。働ける状態ではないが、医療費は多くかかるため、医療費への公的支援を。高齢者への公的サービスを参考にケアマネジャーなど病院への同行者サービスの拡充。</p> <p>PS3-4 医療費への公的支援・減免や医療費控除の拡大。徐々に仕事復帰も視野に入ってくるが、現在の傷病手当金では、部分的に復帰すると、傷病手当金の給付はゼロになり、中途半端に働くとむしろ収入が大きく減ることに。しかし、コロナ後遺症では、徐々に勤務時間を増やしながらか復帰することが推奨される。徐々に勤務時間を増やししやすい制度設計、コロナ後遺症一時金など、公的金融補助の拡充、あるいは迅速な傷病手当金給付を。そして、自営業の患者への無収入の間の金融支援を。</p> <p>全体を通して: 特にコロナ後遺症発症直後のPSの重い時期(2ヶ月程度)の公的支援の拡充を。そこで無理をすると慢性疲労症候群などへ移行して一生寝たきりになる可能性も少なからずある。働き盛りの労働者を社会から失わないためにも、罹患後迅速に療養に集中できる環境整備を。6ヶ月経過後、障害者認定となつてからの支援では</p>
40代	1か月～3か月	とにかく感染を広げないこと。感染症対策の根本的な見直し。
30代	1か月～3か月	隔離期間後も病状を把握出来る様な試みを行い、医療費の補助だけでなく休職、離職してしまった人への支援も必要だと思います。
40代	1年以上	治療費の負担軽減
60代	半年以上	各県に出来るだけ多くの後遺症外来を使って頂き、的確な医療を受けられる様に治療法の確立をして欲しい。 また例えば一月にかかった医療費が一定以上になった場合の補助をして欲しい。
30代	1か月～3か月	コロナによる咳が続いているが治療を受けられずにいるので補助を出して欲しい。また無理せず休めるよう企業に対しても政府から促して欲しい。
40代	1か月～3か月	明確なガイドラインとそれに対する保障 また、はっきりしない不調においても当事者が不利益を被らないような主に勤労に関する法的整備
50代	1年以上	医師として、学者として、役人として、政治家として目の前の消えそうな命を救うのはとても大切で必要なことです。しかし世界中で後遺症患者が苦しみ困窮していることがわかり、努力研究施策が続けられています。反対に日本では放置。しばらくしたら治るとかふざけた広報をする始末。ガイドラインも医師への報酬も曖昧なまま。世界を見ていてこれでは無能と誇られても仕方ないのでは？自死を選択した方もいらっしゃいますし、事実、私も考えています。

年齢	期間	
30代	1年以上	<p>まず必要なことは後遺症に対する理解を深めること。「後遺症外来」の看板を掲げながらも患者の訴えに「気のせい」と鼻先で笑って追い出す医師もいる。将来に絶望して自殺した人もいる。こうした症状が存在し、深刻な事態に陥っている人たちのことを国としてしっかり受け止め、広く国民に知らしめて全体の理解を深めることは必要なことである。</p> <p>次に政府として、後遺症と診断された人への医療費支援、経済支援は絶対に行ってほしい。</p> <p>さらに、2020年ごろの感染と思われる人たちは、検査を受ける要件を満たさず検査すら受けられなかったために「コロナ後遺症」と思われる症状で苦しんでいても、コロナ後遺症として認められないという不条理に置かれている。こうした人々への救済も必要だと思っている。少なくとも検査に行くために設けた条件で門前払いされている人がいた事実は、政府にその責任がある。</p>
40代	1年以上	<p>後遺症の研究や治療の研究費に、国の予算を割いていただきたい。障害年金3級を国保でも認めてほしい。</p>
30代	3か月～半年	<p>上記の通りです。</p>
30代	1か月～3か月	<p>後遺症が多くの人にあること、どのような症状があるのか広く認知されるよう働きかけてほしい。</p>
30代	半年以上	<p>コロナ後遺症を国で認めて、後遺症が残る人には経済的に支える体勢を整えて欲しいです。</p> <p>また、各企業にもコロナ後遺症に苦しむ人のための特別休暇や時短勤務など柔軟な対応をするよう国から呼びかけていただきたいです。</p>
10代	3か月～半年	<p>後遺症を診察してくれる病院を増やしてほしい。診療報酬が低いそうなので、そこを上げて、たくさん病院が見てくれるようになってほしい。</p>
20代	1か月～3か月	<p>とにかく政府がきっちりと後遺症について認識する事</p>
40代	3か月～半年	<p>まずは知ってほしい。</p>
10代	1か月～3か月	<p>子どもの後遺症専門病院、訪問治療、学習支援制度(欠席免除、高校受験のオンライン試験など)</p>
50代	半年以上	<p>まず、ユニバーサルマスクで罹患者をなるべく出さないこと。マスクを外せなどもってのほか。</p> <p>又、罹患後7日で社会復帰可能などと言っているが、10日間は人にうつす可能性があることを周知してほしい。</p> <p>ここまでは国庫に全く負担がかからないのですぐにやってもらいたい。</p> <p>また、後遺症治療に保険点数を付けてもらいたい。そうすれば「後遺症なんて存在しない」という医師は減ると思う。</p> <p>更に、後遺症対策研究、後遺症で困窮している方の経済的支援、後遺症で通学できない方のためのリモート授業への支援に予算を付けて欲しい。</p>
30代	1年以上	<p>研究や後遺症患者への支援をちゃんとして欲しい。後遺症外来をしている先生が報われず、苦しい思いをしている。後遺症患者は増えているのに、後遺症外来はあまり増えない。主治医が経営の危機にあるというのは、患者として穏やかでないし、自分の心配も主治医の心配もして、政府はなぜ動かないのかと心をすり減らしている。困っている人がたくさんいるのに、そしてその人たちは体が辛くて声を上げられないのかもしれないのに、それを無かったことのように世の中が動いていくのは、許せない。</p>

年齢	期間	
40代	半年以上	働けないのに薬代や検査代がかなりかかります。 もうすぐ無収入になります。 生活が出来なくなります。 治ったら働きます。 それまで支援してください。 寝たきりの時は子供達はヤングケアラーでした。今でも波があり子供達の世話になります。 助けてください。
30代	半年以上	後遺症外来を増やし、治療を受けやすくしてほしいです。また、感染しなければ受けなくてよかった治療なので、公費負担にしてほしいです。
20代	半年以上	後遺症のことを周知させ、無症状やみなし陽性、偽陰性だった人もある程度の症状があることが認められれば支援が行われてほしい。 政府が感度の低い抗原検査を勧めたことで、偽陰性で後遺症が残ってしまいにも支援がない状態の人が多くいる。それなりの責任を持って対応してほしい。
20代	半年以上	手当を出して欲しいです。
40代	半年以上	治療費がかかるため医療費の減免などを希望します。
20代	3か月～半年	主旨がズれるかもしれませんが、後遺症対策にはまず罹患しないための強い対策が必要だと思います。
40代	1か月以内	給付金
40代	1年以上	病院は、そもそもコロナ後遺症や慢性疲労症候群のことを理解しておらず、精神科をすぐ案内されます。血液検査などで診断マーカーがないからと言って、すぐ精神科の受診をすすめることが問題の一つです。また、コロナ後遺症は症状も多岐にわたるためか治療薬、治療方針が定まらず、慢性疲労症候群も同じくどうしたら治るのかわからず困っています。どうか、研究をもっとしていただきたいと思います。
30代	1か月～3か月	就労、転職支援、生活の底上げ的持続的(一時的ではない)支援、財制の見直し(徴税が酷すぎる)、及び税金の無駄遣いを洗い出しそれを各支援に回して下さい
30代	1年以上	後遺症についてもっと社会に周知させて、長引く療養や職場復帰に段階を経て時間がかかることなどを理解してほしい。 医療に地域格差が大きく地方には治療の選択肢が少ない。慢性疲労症候群などの専門の知識を持った医師が居ない。 保健医療だけではなかなか回復しないので、鍼灸など健康保険の適用にならない治療に頼るしかなく医療費がかなりかかっている。
10歳未満	半年以上	乳幼児対応相談窓口、各自治体病院紹介
50代	3か月～半年	上に書きました
40代	1年以上	善意な医療機関でなければ、対応していない。医療側の報酬をあげる必要性、患者はその上があった分の負担は厳しい方も多く、シンプルに国が負担した方が良い。 窓口を増やす事が重要。
30代	1年以上	医療費の補償、職業支援

年齢	期間	
40代	1か月～3か月	検査体制(検査抑制デマを吹聴した人間をワクチン推進のために利用、共産党はこれを追及してください官製デマです)、37.5度4日は誤解であったなどコロナ禍の幾らかは人災でありこれから5類にさげるとはウズコロナに向かう＝後遺症に苦しむ人を増やす政策である、よって政府は補償すべき。国家賠償請求など国民にそのようなことをさせないでほしい。
30代	1年以上	医者を含めた医療従事者の理解。世間の人からの理解。気持ちの問題と思われる。就職先からの症状に対する配慮がないため退職せざるを得ない。仕事をしないと生活ができない。看護師としてワクチンもないマスクやガウンが枯渇していた頃、コロナ感染者に対応して感染。看護師にならないほうがいいよと看護学生に伝えたい。
30代	半年以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染拡大を抑える</li> <li>後遺症になる人数が少なく済む様に</li> <li>・有効な治療薬の開発、または発見</li> <li>①コロナ罹患時に後遺症にならない様に、</li> <li>②後遺症になっても長引かせないようにする、2つの面からの薬や治療。</li> <li>とにかく研究に力を入れて欲しい！！</li> <li>・後遺症で動いたり、生活出来ない人のための介助や支援サービス</li> <li>・基礎疾患がある人や高齢者だけがリスクが高い訳ではないことを把握して欲しい</li> <li>・後遺症者の実態把握</li> <li>生活出来る出来ないの内訳も調査して、</li> <li>今後に繋げて欲しい</li> </ul>
50代	3か月～半年	<p>先程回答した者です追加です</p> <p>感染してから 軽めの後遺症が悪化してしまう理由を 国民に知らせる事</p> <p>地域の病院で後遺症はない！と そんな扱いをされているので 全ての病院へ早急に理解して貰う事</p> <p>療養後の仕事復帰までの期間を個人が選び 年休追加等、国からの支援で 後遺症があるにもかかわらず 無理に仕事をしないようにする事</p>
30代	半年以上	コロナ後遺症の治療薬、治療法をいち早く解明する事に注力してください。医療費で困窮しかねないので経済的支援、救済策を作ってください。
40代	1年以上	受付の段階で、診察を断られないようにする事
40代	1年以上	療養中の補償、失職防止、失業者の補償と社会復帰の助け。
40代	半年以上	<p>経済優先する事ばかりで感染者、後遺症患者は放置。困っている人が沢山います。</p> <p>地方では後遺症治療に理解ある病院もなく、かかる病院すらありません。</p> <p>後遺症治療にもっと力を入れてほしい事と、鍼灸やカイロ、漢方などの治療を保険対象にして欲しいです。</p>

年齢	期間	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・後遺症の周知です。未だに「そんなものはない」と言われ傷ついている患者がいます。どんな症状が大変か、どのくらいの人が休職したか、退職したか、現実を皆さんに知ってほしいです。</li> <li>・後遺症で働けない人の経済的な救済をお願いします。ブレインフォグで調べることや考えることが困難な人も多いです。手続きを分かりやすくしていただけたら助かります。</li> <li>・大阪のオノダクリニックで処方された薬でブレインフォグが治ったという人が多くいます。混みすぎて新規予約を中止しています。この処方を広めていただきたいです。合わない人もいるようですが、とにかく治したくて飲んでみたいのです。</li> <li>・後遺症当事者とその友人が作った『コンサル21-22』という映画があります。後遺症のリアルがよく分かりますので、政治家の皆さんにも見ていただきたいです。</li> </ul>
50代	半年以上	医師報酬の増加(手間がかかるが報酬が低い場合は受診拒否するため)
30代	半年以上	治療費がかかります。補償して欲しいです。
30代	半年以上	手当
40代	1年以上	<p>とりあえず正確にコロナ後遺症を診てくれる病院への誘導をちゃんとして欲しい。コロナ後遺症の治療は本当に長い。もう傷病手当も切れそうで貯金もなくなり困っています。後遺症患者を認めて、医療費の資金援助して欲しいです。</p>
40代	3か月～半年	<p>コロナ後ほぼ食事も食べれなくなり体調不良という診てもらえない病院もあり、後遺症外来も少なくちゃんと診て貰うまでに私は1ヶ月もかかりました。なのでちゃんと後遺症を診てくれる病院。報道含めて全然周知されていない為、多くの人に理解してもらえるようにしてほしい。</p> <p>ちゃんと手洗いもうがいもマスクもしたのに……好んでなった病じゃない。税金だって国から決められたものはきちんと納めてるのに…だから見捨てないでほしい。</p>
30代	半年以上	地方は後遺症外来が機能していないので機能している病院や医師が必要、働けないのでお金がとにかかない
50代	1か月～3か月	一律給付支援
40代	1年以上	認知度を高める。環境改善。素早い対応。
30代	半年以上	仕事を辞めたり休んだりすることがあるのに治療に終わりが見えないので、少しでもいいから経済的な負担を軽くしてほしい。
40代	1年以上	<p>国として後遺症患者数や実態を把握して、その人たちが生活に困らないよう対策を進めてほしい。私が住んでいる地域では後遺症専門外来がなく、後遺症になってもどこへ受診すれば良いか分からないという話も記事になっていた。都会だけでなく、地方でも後遺症かな？と思ったらまず検査できる施設(総合病院など大きめの医療施設)で検査、そこから症状毎に後遺症のノウハウを持つ内科や呼吸器科、鍼灸院などへの受診を促すようなシステムを構築して欲しい。今は数少ないやる気のある開業医などが見てくれるが、患者はどんどん増えて手が回らず、寝る時間を削って診てくれており、診療報酬も安すぎて心身ともに辟易してしまっているような状態。そういうことも知らないんだろうな…と思っている。5月以降は更に深刻な状況になるのは目に見えている。首相は聞く力かかっていたが本当にそれが備わっているなら自分のやりたいことだけやっていないで、ちゃんと声を聞いてくださいよと言いたい。</p>
50代	1年以上	後遺症の薬を早く作って欲しいのと、支援を簡素化してほしいです。

年齢	期間	
30代	1年以上	もっと後遺症のことを周りに伝えてほしい！認知されてほしい！
40代	半年以上	せめて、必要な血液検査をどの医院でも保険診療で行える様にしてほしい。また、後遺症の情報を共有化してほしい。(医師・患者ともに)
20代	1年以上	治療費の補助や負担、後遺症患者の症状によって色んな制度を使わせて欲しい、研究にもっと力をいれてほしい、後遺症を障害者として扱って欲しい(そうすれば色んな制度や補助が使えるので)、後遺症患者のことを見て見ぬふりをしないで欲しい
40代	半年以上	実態の把握と有効な治療情報を全国の医療機関で共有すること。 今は限られた専門医での治療しかなく、検査のための通院をする度に体に負担がかかり、その度悪化して数週間寝込む状態です。
30代	1年以上	まず後遺症がどれだけ社会に影響を与える問題であるかを理解してほしいです。その上で正しい情報を厚労省から国民や医療機関に発信し後遺症の治療の促進と周囲への理解を深めることに尽力してほしいです。もう何年も後遺症のことは無視され続けながしるにされたままで後遺症患者の精神には限界が来ていると思います。
20代	1年以上	少なく見積もっても感染者の1割程度は後遺症が残ると言われていますが、このまま放置していけば、労働人口が確実に減ります。5類にして経済を回したいようですが、その前に経済を回す人がいなくなります。 まず後遺症にならないための、新型コロナ罹患時の有効な治療薬を作ってください。そして、後遺症になったあとでも効く薬もお願いします。休職や退職時の経済支援もお願いします。
30代	半年以上	もっと後遺症を診てくれる病院を増やす。診療報酬が低いから、診る病院が増えないと聞いた。
40代	半年以上	医療の確立
50代	3か月～半年	治療法を早く見つけて、治して欲しい。専門の理解ある医者を育てて欲しい。働けないので、救済して欲しいです。
40代	半年以上	後遺症治療を専門の病院だけでなく、どこでも受けられるように、治療法など知見を集めてガイドラインを作ったり医師に周知させて欲しい
40代	1年以上	後遺症自体まだまだ認知されておらず、運動を闇雲に薦める医師がいることも問題だと感じているので、後遺症の典型的な症状、初期は必ず安静にすること、運動は闇雲にやらずパーシングが必要な事をもっと全国的に周知させることを必ず行って頂きたいです。そして全国にいる患者の数、実態の把握、患者への治療費、生活費等金銭的な支援をお願いしたいです。そして、まだまだ圧倒的に不足している後遺症に理解のある、治療が出来る医師を増やす事、医師への周知も徹底して頂きたいです。2020年はまだ後遺症そのものの認知が乏しいせいでpcr検査を碌に受けられず、私のように疑いの状態で治療せざるを得ない患者にたいしての金銭的支援もお願いしたいです。
30代	半年以上	後遺症になった人への経済支援、後遺症の治療法を研究するための支援
50代	半年以上	医療機関、社会への周知、地域で後遺症外来を増やしてほしい。 医療費の支援、社会福祉支援 治療薬開発、研究にもっと国費をかけてほしい 重症者への難病指定 困窮者がスムーズに支援を受けられる仕組みづくりを早急に
20代	3か月～半年	コロナ後遺症患者の救済！！

年齢	期間	
50代	3か月～半年	医療費負担、経済的支援(障害年金)、治療法の確立、社会復帰支援(リハビリ等)、介護サービス
60代	1年以上	地方での診療体制の普及。多数の人が、自力で治療が不可のはず。
50代	1年以上	早急に実態把握をして頂きたいです。また、後遺症を知らない方が多過ぎることで、これらの情報を国民に広く知れ渡るように啓蒙して欲しいです。後遺症の研究にしっかり予算を取って、治療に繋がるようにして頂きたいです。
30代	1年以上	コロナ後遺症に効果的なBスポット療法の病院が少なすぎる、コロナ後遺症の人は慢性上咽頭炎になってる人が多いのでそれを治す治療はBスポット、診療報酬を高くするなどして増やして欲しい。
50代	1年以上	コロナ後遺症での休職や時短勤務を推進して欲しい。
20代	1年以上	まずは感染しないことが第一ですので、脱マスクを煽るのはやめていただきたいです。屋外はともかく(空気感染するので距離が十分にとれる場所以外では極力着用推奨していただきたいですが)、公共交通機関や病院、スーパーなど生活する上で避けられない場所ではマスク着用は必須であり、きちんと推奨していただきたいです。どうしても非着用者の権利を優先したいのであれば、マスク非着用者とマスク着用者で車両を分けたり棲み分けをしたら良いのではと思っています。また、早期にパキロピッドを服用することで後遺症を減らせるというデータもあるそうですので、普通の国民にも広くパキロピッドを処方していただきたいです。
20代	1年以上	完治を目指した研究。有効な治療がないことを含めて、正しく感染によるリスクを伝える広報(経済優先で起こらない事はわかってる)。困窮者への支援。
30代	1年以上	PCR検査を受けられなかった「疑い」の人たちも対象に入れてほしい。医師の判断で検査を受けられなかったことで民間の保険も効かず、陽性の証明がないことによる不都合が極めて多い。
50代	1年以上	コロナ罹患者の復職前受診を制度化し、体調が整わない場合の休業・時短などを保障すること。 後遺症の治療法研究・普及。
50代	1か月～3か月	後遺症で休職しなくてはならなくなった人への経済援助、後遺症の社会的認知度をあげること
60代	1か月～3か月	どんな年代の人にどれくらいの後遺症が出ていて、それはどの程度続くのか、ワクチン接種の回数、時期などどのような関連があるのか、お願いだからきちんとしたデータをとって欲しい。新型コロナの流行はもう3年以上続いているのに、何の根拠もなく物事が決められることに未だに慣れない。
10代	1年以上	後遺症により休学している学生たちに対する救済措置をお願いしたいです。
60代	1年以上	医者と連携を取りながら、まずは後遺症の実態を調べ、どのような治療法が有効なのかを探る費用と機関を定めてお金を使ってほしい。もっと関心をもってほしい。2類とか5類とか、表面的な問題ではない。命の問題です。軍事費にまわすお金があるなら、中抜きするお金があるなら、後遺症対策に使ってください。子どもたちが後遺症になったら気の毒すぎます。これからマスクをはずす人が増えて、感染がぶり返したらどうするのか。 感染対策も後遺症対策のひとつだと思います。

年齢	期間	
10代	1年以上	<p>まずはとにかく後遺症の認知度を高めて欲しいです。医療機関でも話がなかなか通じない中、学校や職場に説明し、理解してもらうことに苦心しています。5類にしてコロナは終わりました！という空気になり、取り残されるのではないかという不安が大きいです。</p> <p>次に、コロナ後遺症をきちんと診察してくれる病院を増やして欲しいです。特に子供は診てくれる病院が本当に少ないです。大阪府のHPに記載されている病院で、通院可能な範囲の病院全てに電話しましたが、診ると言ってくれたのは1件、それも小児科でコロナ後遺症のことは詳しくないけどそれでもよければとのことでした。子供は診てくれる所も少なければ、治療の選択肢も大人に比べてかなり少ないです。</p> <p>そして、治療の研究を真剣にお金をかけてやって欲しい。私たちを助ける術をどうにか見つけてもらいたいです。</p>
40代	半年以上	まずは「コロナ後遺症」を認め、給付金なり、受診できるところを増やすなどしてほしい。まずは認めてほしいです。
10歳未満	1年以上	ワクチン後遺症で同じように苦しんでいる人もいます。経済優先やG7向けにマスクなしを急いでいる裏側で医療従事者は悲鳴をあげ、後遺症当事者や家族は「なかったこと」にされることで心が引き裂かれています。逆に問います。後遺症対策としてこのアンケートを見た今、政府に必要な後遺症対策はなんだと思いますか？是非お考えを聞かせて欲しいです。一緒に考えて欲しいです。
30代	1か月～3か月	社会的な経済支援
50代	半年以上	後遺症と認めてもらうのも大変になると思うから何も期待しないし、何も求めません。コロナの検査でさえも簡単ではなかったので、結局大変になるのは医療機関だけになると思うから。すみません。こんな言い方しかできなくて。
30代	1か月～3か月	治療法の確立
50代	1年以上	後遺症患者への経済的支援と、治療法研究への支援。さらに、後遺症の啓蒙。
40代	1年以上	実態調査、研究支援、医療連携、法整備。
10代	半年以上	治療法の研究
40代	1年以上	経済復興ができないことをマスクに責任転嫁しすぎ。
10代	半年以上	5類にしないこと
30代	1年以上	コロナ後遺症/ワクチン長期副反応ともに、病気自体と症状の認知拡大のため、全数把握、ガイドラインの作成、報酬改善(診てくれるところが少なすぎる、知らない医師が多すぎる)。研究費用の確保。休職/失職となった場合の補償。
40代	1か月～3か月	コロナ後遺症の診療の場を拡充すると共に、類似疾患である慢性疲労症候群も診られる機関の拡充、啓発、研究の推進をお願いします。
40代	1年以上	医師にちゃんとまともな情報供給ができるようにしてほしい。驚くほど何も知らなくて、泣きたくなった。
40代	半年以上	慢性疲労症候群なら脳の画像診断が出来る病院、診断書と介護保険認定。欧米のように国支援での研究など。

年齢	期間	
50代	3か月～半年	経済的支援と各県にコロナ後遺症外来の設置
30代	1年以上	①後遺症外来の診療報酬をあげてほしい ②耳鼻科のBスポット療法の診療報酬をあげてほしい(後遺症に有効な治療法) ③疾病手当が切れた後の支援策を考えてほしい
40代	1か月～3か月	有効な薬、ワクチン、検査の拡充
50代	1年以上	『私利私欲』にかまけず国民のために働いて欲しい
30代	1年以上	税金をさらに使いすぎるのもなんともいえないから言えない。
30代	3か月～半年	後遺症の認定、及び受診費用や生活費の補償
30代	1年以上	金よこせ
10代	1年以上	<p>専門家会議の資料に後遺症に関するものは見られません。患者の声、治療にあたる先生方の声が無視され続けています。 無駄なアプリ開発に億単位のお金が流れ、後遺症の研究費が3年経ってもほとんどないのはなぜでしょうか？</p> <p>うつと診断される若者が増えています。 働き盛りの年代に多い後遺症。</p> <p>海外のように安心してマスクを外せるよう、 感染を防ぐために、気軽にPCR検査(抗原検査ではなく)が受けられる体制を早く構築してほしいです。</p>
40代	1年以上	後遺症患者がどのくらいいるのか、どれだけ大変なのか知ってもらい、支援して欲しいです
40代	半年以上	<p>明確な治療法や治療薬がない中、コロナ後遺症に対する知見や研究がまだまだ進んでいない。至急治療方法に関する研究を進めて欲しい。また後遺症の患者が少ない病院に殺到している現状があるためどこでも見てもらえるように制度を整えてほしい。</p> <p>コロナ後遺症で休職を余儀なくされている方がどれくらいいるのか把握し傷病手当金以外の保障を拡充してほしい。</p>
30代	半年以上	もっとコロナ後遺症について情報を下さい。こちらしんどい状態で病院探しをしたり受診に行っています。いつ治るか分からない状態です。日常生活が送れない辛さ分かりますか？金銭的にもキツイので手当てが欲しいです。普通に考えて働きたくてめ働けなく税金だけ払うのはおかしくないですか？
40代	1年以上	感染対策緩和する流れですが、私みたいな後遺症の方がこれ以上増えるのではと心配しております。
50代	半年以上	治療の補償、生活の補償。
40代	1年以上	厚労省分科会や感染研という似非専門家集団ではなく、しっかりとした分子生物学者、生化学者、病理学者、神経科学者、平畑先生を始めとする後遺症専門医、漢方医などの様々な分野の専門的知見による後遺症の詳細な解明、啓発を求めます。
30代	1年以上	後遺症と疑える症状がある人は、治療費の負担をお願いしたいです。
40代	1年以上	後遺症患者に対する医療費負担の軽減。

年齢	期間	
50代	3か月～半年	ワクチン後遺症の事に対しても真剣に対応してください。 因果関係がないで逃げないでください。
40代	3か月～半年	この先もこういった事は起こり得るし、今も改善されている訳ではないのできちんと検証し、記録を残してほしい
40代	1年以上	経済的支援、同時に後遺症患者の実態をきちんと調査し広く周知すること。
30代	1か月以内	治療法を早く見つけてほしいです。
20代	半年以上	上記の内容です。
50代	1年以上	検査難民、検査で当初陽性にならなかった人も治療への道が開けるようにお願いしたいです そして何度お願いしても検査してもらえなかったのに、検査が受けやすくなった後の方は十分な支援と保険のおりるなど手厚い補償が受けられて、今も尚体調不良の自分と家族がいる状況は本当に社会から置いて行かれて取り残されてしまったような複雑な思いです
10代	1年以上	原因と治療法は繋がっているはずですが。 情報の共有がどこまでなされているのか知りませんが 個々の病院でバラバラな治療を闇雲に行うのではなく、患者が最新の情報からの治療を同じように受けることができるようにして欲しいです 検査難民の患者もコロナ原因の体調不良者として治療を受けさせて欲しいです
40代	1か月～3か月	コロナ5類への引き下げを再検討すべき。
10代	1年以上	まずは後遺症に対する理解。中にはワクチン後遺症もあります。 この中で色々断念したものを取り戻せる環境を整えて下さい。特に家の場合は中学生ですので体調が回復した際には義務教育の期間、高校進学等のチャンスが頂けたらと思います。
40代	1年以上	政権交代
40代	1年以上	後遺症の正しい理解
50代	1年以上	五類への移行、マスク着用見直し等は、後遺症があることを念頭に置いて注意喚起等も並行して行ってほしい。
60代	1年以上	経済的支援 医療機関の後遺症対策の拡大 研究費の支給
50代	1年以上	医療費支援、難病認定、治療法の研究

年齢	期間	
40代	1年以上	<p>・社会への認知 今でも、気持ちの問題。みんなしんどい。などと言ってくる人が多いです。テレビでの後遺症の特集なども増えましたが、お昼の情報番組や夕方のニュースが主で、働いている人はほとんど見られない時間帯で、今は労災で休職させてもらっていますが、同僚には仮病扱いでよく思っていない人もいます。</p> <p>・生活の保障 完治・寛解後も元の生活を出来る自信がありません。 このまま退職も頭にあります。 「〇〇が効く」と聞くと試してしまいます。藁にもすがる気持ちです…</p> <p>・治療方、薬の開発 先が見えないのが一番つらいです。</p>
50代	1年以上	医療費補助、生活費補助、社会への啓蒙、後遺症外来をしている病院(孤軍しているヒラハタクリニックなど)そして上咽頭擦過療法(EAT or Bスポット療法)を実施する病院への支援を切に希望します！
40代	半年以上	後遺症についてもっと真剣に考えてほしい。具体的な支援、医療の研究等をすぐにも取り組んでほしい。いろいろの立場の人達の生活に合った支援を充実させてほしい。
50代	1年以上	<p>○筋痛性脳脊髄炎／慢性疲労症候群との関連を含む後遺症の研究とそれに伴う治療薬・治療法の早期確立(人生の大切な時間が無情に過ぎている実状を深刻に受け止めて真剣な対応をお願いしたい)。</p> <p>○保険外診療を含む医療費の負担軽減</p> <p>○2020年当初の基準によりPCR検査を受けられなかった患者に対する適切な対応(2020年2月下旬、肺の痛み、微熱などの症状が妻と同じタイミング(休暇で戻った自宅から単身赴任先の職場に戻ったタイミング)で現れた。しかしながら、妻も私も熱が当時基準とされていた37.5度には届かなかったことからPCRを受けられず、症状からコロナ罹患が強く疑われるもののPCRを受けられずコロナ罹患と診断されなかった患者に対しても、コロナによる後遺症として適切な対応をお願いしたい)</p>
40代	1年以上	受診、検査できる病院が増えればありがたいです。
40代	半年以上	働けなくなる疾患であることの周知と、経済的なサポートを迅速に行うこと
30代	半年以上	<p>医療費の補助 治療に対しての研究 動けないのでヘルパーを利用できたりタクシー券をもらえると有り難い 鍼灸を保険適用にしてほしい</p> <p>☆☆☆コロナ後遺症を積極的に診ているヒラハタクリニックや野崎先生を支援してほしい</p>
40代	1年以上	先ず検査が出来て感染を広げない為の科学的対策。
70代	1か月～3か月	医療費補助
30代	半年以上	<p>経済的支援(生活費・医療費の補助) コロナ後遺症は経過が長くなるため、傷病手当が切れた後の支援。 「平畑クリニック」の様に積極的に治療をしている医療機関への経済的支援。 鍼灸治療の保険適応。 治療法の研究・開発に予算をもっとつぎ込んで欲しい。</p>

年齢	期間	
50代	1年以上	政府が率先してワクチン接種をすすめて、私達医療従事者はワクチンハラスメントで仕方なく接種しました。 なのに、ワクチン後遺症は全く報道されず、河野大臣に関しては責任とるの発言も無かったことになっており、憤りを超えたものを日々感じております。
50代	3か月～半年	そもそも、いい加減な感染症対策をしないで欲しい。
40代	1年以上	補助金
50代	1年以上	後遺症の症状が似ているので、薬を作って欲しい。
30代	半年以上	公的な治療を提供してほしい。仕事を休む期間の金銭的な支援が欲しい
50代	1年以上	治療法の研究をすすめる。診てくれる診療所を増やす(診療報酬の改定、診療ガイドラインの改訂)。医療費の補助。生活支援(重度の方向け、長期の方向け)。
50代	1年以上	しっかりとした調査と事実を社会に広める事
50代	半年以上	本当に5類にしていいのか。 コロナは軽症でも、コロナ後遺症は発症します。このまま黙殺されて自死される方が増えたり社会生活を通常に出来ずに退職失職する方が増加する事が予想されます…経済活動にも影響すると思います。
40代	1年以上	経済的支援。治療法や薬の開発(大至急)。
50代		病院も金銭的に大変。コロナはただの風邪ではない。
50代	1か月～3か月	救済政策として確立してほしい。休業補償や経済的補償など
30代	1か月～3か月	後遺症のことをもっとテレビなどで報道し、社会の理解を深めてほしい
50代	半年以上	きちんと、後遺症を診察してくれる医療機関を確立し、患者と繋いでください。
50代	1年以上	コロナに感染し後遺症になる人は3割、ひどい症状でも1割以上といわれております。しかしながら実際コロナにかかっても、後遺症にならずに風邪症状で済んでしまった人もいるわけで、そういう方に見ればコロナの後遺症があることは理解できない状況だと思います。これは放射能汚染の子供の甲状腺がんと一緒に、検査しなければがん(コロナ)はない、かかってしまった人は運が悪かった、で見捨てられてしまうと感じています。 コロナにかからなければ後遺症にもならないため、徹底したコロナ感染予防対策が後遺症対策にもつながります。これまでのPCR検査抑制をあらため、マスクの徹底を緩和するのをやめる、学校はじめとする病院や公民館などの公共の施設などの空気清浄機の設置などが後遺症を作らない最も基本となると思うので、まずはコロナを広げない対策の徹底をお願いいたします。
30代	1年以上	コロナ後遺症、ワクチン後遺症を認めて、治療体制を構築してほしい。
40代	半年以上	後遺症をしっかり理解している医師と後遺症外来を増やしてほしい。患者への経済的支援。
30代	1年以上	医療費、傷病手当を延長可能にして欲しい
10代	半年以上	経済的な支援 学校、会社が患者に配慮できるような支援
10代	半年以上	情報が少ない。金銭的にかかる(鍼灸などの保険適用希望)

年齢	期間	
10代	1年以上	無症状感染から後遺症になることがあります。感染時に誰もが当たり前前に病院を受診でき、適切に薬が処方されるようにしていただきたいです。
50代	1か月～3か月	もっと世間的に周知されるようにしてほしいし、診てもらえる病院を増やしてほしい。今後も少なくとも室内マスクを徹底してほしい。
60代	1年以上	治療費と、生活費の補助をお願いしたいです
40代	3か月～半年	後遺症の正しい理解を促し、経済的な支援をお願いします。その前に罹患しない感染拡大しない対策、または医療にすぐ繋がらない現状を改善、強化していただかないと後遺症患者は増えるばかりです。
50代	1か月～3か月	経済的支援。企業もコロナ後遺症の実態をきちんと理解するように働きかけて欲しい。 もっとコロナ後遺症の実態について詳しく調べて国民にわかりやすく発表してほしい。 後遺症と思わず悩んでいる人も多いと思います。どこの病院にも後遺症外来を設置して欲しい。 医師が後遺症について効果のある薬や医療法を勉強して欲しい。
10歳未満	1か月～3か月	まずは、対策緩和ばかりですが、後遺症について無視をしないでいただきたい。実態すら把握せず、無支援放置はあり得ません。まずは後遺症を抱えた方の把握、また経済的な支援、後遺症への周囲の理解を促すべきです。
50代	1年以上	後遺症外来を
40代	1年以上	マスクです。マスク緩和なんてとんでもないです。公共の場や電車でマスクを外されれば、また罹患者は増え、悪循環極まりないと思っています。逆にマスクをするだけでたくさんの命が助かる事を強く訴えていただきたいです。
40代	1年以上	オリンピック強硬開催で感染したと認識しています。政府のお粗末な感染症対策が原因なので、賠償金の支払いを求めたいです。失われな健康と時間は戻ってこないです。
40代	1年以上	何度受診し、検査をし、薬代も非常にたくさんかかっています。後遺症の診断書があれば、医療費を減らすなど、なにか対応してほしいです。
30代	1か月～3か月	早急な治療法の確立と、医療機関受診の補助金検討して欲しい。
40代	1年以上	後遺症の実態調査をお願いしたいです。診察拒否をする病院もありました。漢方専門店や鍼灸院などにも調査は必要です。何より、全ての感染者の症状そして感染後の症状や生活についての調査で実態を把握して欲しいです。
30代	半年以上	税金の減免をしても、食費一万円にしても、雑費を一年洋服買わなくても、とにかくお金が足りません。一時的な給付金ではなく、継続的な補助をお願いしたいです。
20代	1年以上	コロナ後遺症患者への経済的支援と、治療法確立のための研究の推進と、コロナ後遺症への理解をお願い致します。
30代	1年以上	日常生活が困難なため、コロナ後遺症を障害年金など他の障害と同じように認定し、公的扶助に繋げてほしい。またそれを医療機関に浸透させてほしい。
20代	1か月～3か月	共通理解の育成、医療体制の確立、コロナ後遺症に対応する介護休暇
30代	半年以上	治療法の確立、治療期間の休業補償、職場への理解促進

年齢	期間	
50代	半年以上	医療費無料、貧困の防止支援金 カウンセリングホットライン。情報弱者になり。頭も体も動かないため。そのため、後遺症になったら自動的に情報を流してください(経済面)
30代	半年以上	まず予算をつけてください。 後遺症の患者がこんなにいることを把握してください。
30代	1年以上	研究費にもっとお金を回して欲しい。 後遺症患者で困窮している方が多く、支援体制を作って欲しい。
50代	半年以上	治療法の解明に予算を使ってほしい
30代	1か月～3か月	薬を開発してほしい
60代	半年以上	まともな返答を出せる医者とクリニックを作って欲しい。 未だに、コロナ後遺症患者に対して『心因的なもの』『診療内科に行け』と暴言を吐く医者がある。 診察してくれるクリニックを探すのに半年かかりました。しかもGoogle検索でやっと見つけた。 動けず、電車にも乗れず、車での移動すら出来ず、クリニックに行くことすら出来ない患者がワンサかいます。 私が仕事をできなかつたら、私の生活保護費と働かない事に寄る損失が毎月30万円になる。それかけるコロナ後遺症患者数の損失です。 仕事したい！！ 治りたい！！
50代	半年以上	医療費無料
40代	1年以上	後遺症患者の差別をなくし、テレビでも情報がいると感じる。5類にせず2類で良い
40代	半年以上	後遺症外来の充実。
40代	1年以上	支援がないと生活できない方が沢山います。
40代	1か月～3か月	治療法の確立
30代	1年以上	まずは、社会的に理解を広め、深めてもらうこと。そして後遺症患者さんが「助けて」と言いやすい空気を作ること。 あとは、やはり経済的支援は強くお願いしたいです。 また、そもそも論として、コロナ自体にならないことは大事だと思います。5類引き下げやマスク任意と、対策を緩めるのはやはり不安です。 緩める広報一辺倒ではなく、注意喚起やコロナ後遺症についても広報してほしいです。 岸田さんは「医療難民をつくらない」と言って、自民党総裁に通りましたが、患者の立場からすると、 そうはなっていない現実が残念ながらあるので、ぜひ有言実行してほしいです。
40代	3か月～半年	後遺症外来の医療費を負担して頂きたいです。
50代	1か月～3か月	何を求めて良いか分からないです
30代	半年以上	各都道府県にコロナ後遺症外来の設置
20代	1か月～3か月	お金はもう気にしないから研究を進めて欲しい
40代	1年以上	とにかく支援してもらいたい

年齢	期間	
30代	1か月～3か月	コロナ後遺症の症状は政府が認めている症状だけではなく、他にも多岐にわたるといこと、働けなくなり寝たきりになるほどの辛い症状が出るということを知って、理解していただき、コロナ後遺症を治療するための支援を検討していただきたいです。(コロナ後遺症外来を実施する病院を増やす、治療にかかる医療費の補助金制度など)
30代	1年以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・症状の周知: 後遺症はあること。症状や治療過程、通学通勤復帰で配慮することを多くの人知っている状態にして欲しい(インフルエンザの復帰日のように)ネットで治療の情報等を探すも罵詈雑言も目に入り辛いです。</li> <li>・治療法の周知: 初期は症状もそうですが治療法も手探りです。病院にかかるもネットで探すも自分にあっているのか不安です。標準的な方法を周知して欲しいです。ブレインフォグでなかなか探せなかったり判断に困ったりします。</li> <li>・支援: 仕事ができないので多くの人を経済的に困窮します。支援が必要です。その情報にいきつくため支援の内容、受ける方法の一覧配布や、支援を受けるための支援(補助など)もあるとブレインフォグや疲労度合いが強い人にはありがたいです。</li> </ul>
40代	1か月～3か月	同上
50代	半年以上	後遺症の原因、治療の研究を早急に行って欲しいです。
30代	1か月～3か月	助成金や、寝たきりの人がすぐに助けを呼べる仕組みがあれば良いと思います。
20代	1年以上	補償を求めます。
40代	1年以上	医療費の補助。 働かず医療費ばかりかかるので辛いです。
40代	半年以上	後遺症外来を増やしてほしい。休職中の金銭的支援を求めたい。
40代	半年以上	治療薬を早く出して欲しい。滋賀県にコロナ後遺症外来がない。大阪の北野病院は1年先しか予約がとれない。
50代	半年以上	医療費の無料化、受け入れてくれる企業の範囲拡大、在宅ワークの進め、生活費の保証です
30代	半年以上	<p>悪化した際に頼れる医療体制を整えて欲しいです。不調が長引き出勤できず、かかりつけ医には『療養で閉じこもっていたし運動では』と言われ、体力を戻そうとウォーキングしたら突然起き上がれなくなり寝たきりになりました。</p> <p>自分で情報を探して診てくれる病院を探したり、遠くまで遠征したりと体調が悪いのに全て自分で動かなければ何も出来ませんでした。診断してもらえなければ、自分がなぜコロナ感染してから体がおかしくなったのか納得できないし、人にも説明できなくて辛い思いをしました。</p> <p>自治体や保健所にも相談してコロナ関連のコールセンターをたらいまわしにされましたが、結局何も得られませんでした。</p>
40代	半年以上	後遺症についての医学的研究、経済的支援
50代	3か月～半年	私は、後遺症が酷く、休職後退職となったが、転職して、すぐだった為、傷病手当も受けられなく、収入が途絶え、治療費などもかかる為…生活支援をしてほしい
30代	1か月以内	傷病手当や医療費補助、生活保護などの支援

年齢	期間	
50代	1年以上	私は、後遺症を乗り越えて、感染症筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群と確定診断されましたので、体の痛みや胸の痛み、息苦しさなどまだ常態的にあり病院にかかっています。 まず、当面の経済的支援と指定難病にさせていただいて、一生の経済的保障の確立をしてもらいたいです。治療できる医師が少ないので、その情報提供もお願いしたいです。
40代	半年以上	調査、把握、発表
40代	1年以上	LongCovid、LongCovidKidsの人数や状況の把握。 経済的支援、各県各地域にちゃんとしたコロナ後遺症外来の設置。コロナ後遺症にもっと沢山の予算をつけてコロナと後遺症について研究してほしいです。
30代	1か月以内	情報を集計し、感染した時の状況や症状と合わせて統計を出し、感染予防と合わせて後遺症への注意を呼びかけてほしい。感染予防をきちんと呼びかけて、2類のままにしてきちんと予防対策をしてほしい。
50代	1か月～3か月	少なくともワクチン接種の副反応については、国の責任で手当して欲しい
30代	3か月～半年	急にぶり返すとか、後遺症をもっと広めてほしい。気のせいとか心の病に思われてしまうから
50代	半年以上	意識を失う様な異様な眠気や、身体を起き上げる事ができない様な倦怠感など、強い意思を持ってしてもどうにもならない時があり、どれだけ眠っても眠り足りない。かと思えば「昨日までの私は何だったのだろう？」と、動ける時もたまにあり、外で元気に振る舞い帰宅直後ベッドに倒れ込むを繰り返しています。 元気そうなのに怠けていると周囲に思われているのでは？と、身体の不調に加えて気持ちも落ち込む。 罹患後2カ月の間、無理をすると後遺症が長引く事、抗えない眠気や怠さがある事、階段昇降等でかなり体力を消耗し、動機息切れがある事など周知して頂きたい。  ありがたい事に都営住宅に住んでいるがエレベーターのない団地の4階のため昇降が辛く、週に2回の通院日以外はゴミ捨ても諦め、引きこもっている状態です。 住宅供給公社に低層階の部屋やエレベーターがある都営住宅への転居を希望したところ、「治る見込みがない」の文言が入った医師の診断書がないと通らないと言われ、コロナ後遺症では難しいようです。 コロナ後遺症を治すためには「怠くなることをしない」が基本ですが、治すための通院で、疲れ果てている状態です。 後遺症を否定せず(鬱病と決めつけたり)後遺症の知識をもって診てくれる病院を増やして頂きたいです。
20代	3か月～半年	実態把握 保険適用範囲を広げる 一人暮らしや協力的な支援者のいない人への家事に補助、通院の補助
40代	半年以上	後遺症患者への医療費のサポートと、後遺症を診る医師の診療報酬をあげること(後遺症内科、Bスポット療法をする耳鼻科など)、後遺症で多くの人が労働問題を抱えているので、会社の産業医、職場への理解やサポートの呼びかけ、後遺症の研究へ予算を割いて問題を直視し本気で取り組んでほしい。 あとは、PCR検査をいつでもだれでも受けれるようにし、感染対策をずっと続けていくことを望む。
40代	1か月～3か月	いつ治るか分からない金銭的な負担も大きいので支援してほしい。

年齢	期間	
30代	1年以上	後遺症外来を増やして欲しい。平畑先生が先導して後遺症に理解のある医師を増やして欲しい。ワクチン後遺症とコロナ後遺症は同じ症状が出るのでそれも併せて周知を徹底して欲しい。
50代	1年以上	後遺症患者の人数や実態の把握、後遺症の治療のための研究費や薬剤開発費用の欧米並みの予算拡充や治験の拡充、後遺症の治療費助成、通院提供サービスや介護サービス、家事サービスの補助又は助成制度の創設、後遺症患者に対し、各事業者が勤務時間や勤労方法の柔軟な働き方ができるような制度の構築、医師への後遺症の実態に関する講習会の実施、医師が後遺症を理解し適切な治療へつなげることを可能とする研修、各医療機関の治療成果の情報共有や勉強会の実施、後遺症治療での各医療機関の連携強化、後遺症を保険診療で診察できる医療機関の拡充、後遺症患者に対し自費診療で高額医療費を請求する詐欺まがいの医療機関の取締り、後遺症治療に係る鍼灸費用の全額保険適用、 失業してしまった場合の再就職につなげる相談受付や再就職先の具体的な提案ができるサービスの確立、再就職につなげるための各個人の状況に合わせた職業訓練 後遺症で通学できない場合オンライン授業の積極的な実施やオンライン授業を出席日数として取り扱う事を国が各教育機関へ周知し徹底する、休学となった際、できる限り学生の不利益とならないような救済措置の実施
40代	1か月～3か月	しっかり対策してほしい。
40代	1か月～3か月	2度とコロナにかかりたくない。マスク継続する予定。子供にもマスクさせて登校させようと思っているが外している子供からの同調圧力があるのではないかと不安に感じている。感染症自体の危険度が下がったわけではないことをきちんと周知しなくてはならない
20代	半年以上	補助金の政策、医師の後遺症の報酬をあげること
10代	1年以上	軍事費よりも後遺症治療に予算を。味覚嗅覚障害しか世間の認識はないが、就学就労できないような後遺症患者が多くいることの承知徹底を。学生は、地域、公立私立の別、学校長の認識の違いによって、出席停止、留年、転学と差が出てしまうことがないように。
40代	1年以上	後遺症の実態を調査把握し医療機関に情報を共有してほしい。結局消去法だとしても(私は耳鼻科脳外科婦人科等の検査結果異常がなく後遺症認定)「こういうタイプは見たことがない」と最初の医師にはいわれたが、最後の医師には「まれにこういうこともある」といわれ認定された。
20代	半年以上	安心して療養出来る環境を整えてほしいです
50代	半年以上	これだけの後遺症が残る病気をインフルと同じ5類にするのはおかしい。せめてマスク着用は義務付けて続けて欲しい。  経済支援と治療費補償
20代	半年以上	給付金
10代	3か月～半年	適切な治療を受けられる医療機関をふやす。この前までほとんど病院にかかることもなかったのに、いきなり通院すら大変になった。訪問診療やオンラインを広めて、利用しやすくしてほしい。倦怠感がある場合、ちょっとした無理をするだけで著しく状態を悪化させる残酷な病です。研究を加速して下さい。
40代	3か月～半年	経済支援、経済保障、何より後遺症の原因、治療方を見つけてほしいです。宜しく願います。助けてください。

年齢	期間	
50代	1か月～3か月	ワクチンは正しかったのか検証してください
20代	1年以上	同上
40代	3か月～半年	治療には時間もお金も精神的負担もかかります。何か補助があったら嬉しいです(特に金銭的に)
40代	1年以上	認めること
40代	1年以上	コロナワクチンが出始めた当初、PCRの不確かさや遺伝子組み換えワクチンの危うさなどデータや資料も添えて共産党愛知県支部にメールしましたが全く相手にされませんでした。 電話もしましたが話を聞いて終わりでした。 自民党や公明党を追求できる共産党だからと見込んでお送りしましたが、失望しております。 今更感はありませんが被害者を増やしながらかつ接種が進められている現状を少しでも何とかするために調査をお願いします。
20代	半年以上	後遺症患者 医療費補助 生活費補助
30代	1年以上	コロナ後遺症で、寝たきりになってしまった患者の、車椅子購入補助、介護タクシー利用、介護ベッドレンタル、ヘルパー利用、社会保障、身体障がい者手帳取得、障がい者年金
30代	半年以上	退職・休職者が激増しています。働き手が減り、また私のように女性が雇いと出産もできなくなります。深刻に捉え、5類にしても後遺症や罹患者数などの確実な情報を国民に知らせることが大切です。また慢性疲労症候群への理解も広めてほしいですし、治療薬や治療法研究への投資も望みます。少ないお医者さんが必死でみてくださっており、より多くの医療機関で後遺症を見てもらえるよう補助してもらいたいです。
30代	1年以上	後遺症の認知 保証
30代	1年以上	まずは後遺症患者の存在を公にして、社会的認知を広めていただきたいです。その上で金銭的補助や、各企業への行為者患者への配慮などを呼びかけていただくと助かります。
30代	1年以上	医療研究費の投入、難病としての認定、身体障害者手帳の認定への理解を促してほしいです。
10歳未満	1か月以内	実態把握、情報収集、情報提供
50代	1年以上	後遺症の診療報酬アップ
60代	1か月～3か月	まずはある、ということ認め、医療費の助成、休業補償、学生、生徒は学業が不利にならないサポートを。休学中は学費免除し、復学しやすいように。
40代	3か月～半年	後遺症を支援の対象として、働けない間の補償などをしてほしい。
50代	1か月以内	5類にはしてはならない。これはただの風邪ではない。後遺症の方が厄介。
50代	1年以上	薬代が負担(受診代は安いですが)。 自立支援のように負担を1割にして欲しい。 鍼灸、TMSを保険適用にして欲しい。
20代	半年以上	フリーランスへの救済措置として月10万円欲しい

年齢	期間	
50代	半年以上	ワクチンがコロナを増やすので、ワクチンはしないで
20代	1年以上	後遺症の情報の開示
20代	1年以上	この病気の研究治療の開発。 とにかく色々な人が苦しんでいて私みたいに感染後、慢性疲労症候群に以降する方も沢山いる。 この病気はほとんど治ることがない難病指定されていない神経免疫疾患です。
10代	1年以上	支援と研究、今後社会問題として取り上げていくべき
10代	1年以上	苦しんでる子供たちに目を背けないで
50代	半年以上	これはワクチン後遺症です。 ワクチン接種したのに何故？罹患してこんな後遺症を残すのでしょうか？ ワクチンの影響があります。
40代	1年以上	治療機関の充実とアクセスのしやすさ(実施している場所をまとめて情報公開して欲しい)
10代	1か月以内	まずは後遺症患者をきちんと把握してほしい。また後遺症を診られる病院の情報がほしい。CMなどで後遺症を周知してほしい。必要な方には経済的な支援をお願いします。
30代	半年以上	経済的支援、補償 後遺症外来の設置
60代	3か月～半年	後遺症相談窓口や専門外来を増やしてほしい
30代	半年以上	治療のための研究を進めてほしい。 そして治療費の軽減措置や経済支援もしてほしい。
40代	半年以上	安心して休業し治療できるよう支援を。
40代	3か月～半年	ワクチンの詳細を伝える事、後遺症で苦しむ人達への損害賠償、給付金
10代	1年以上	障害者認定 医療費補助制度の確立 後遺症発症時の文科省の明確な対応を記載したガイドライン
30代	3か月～半年	とにかく治療を受けられる病院を知りたかったです
40代	半年以上	生活面での補助など
10代	1年以上	まずは認知度を上げていただきたい。後遺症患者はコロナに再度罹患した場合の後遺症再発リスクが高いとの情報もあり、安易に感染対策を緩和しないようにしてもらいたい。
30代	1か月～3か月	後遺症の周知、休職・退職に対する補助
40代	3か月～半年	後遺症がもっと理解される世の中になって欲しい。医療費がとても負担になり、生活が苦しい。後遺症のための金銭補助、相談窓口サポートが欲しい。
40代	1年以上	後遺症の実態把握と、補助費用の補填。

年齢	期間	
40代	1か月～3か月	5類に移行することで別の死に方をする人が増えると思う。なぜ死を回避する選択肢を残さないのか。
30代	1か月～3か月	後遺症にも薬代の負担をして欲しい。休職してるなか、病院代はとてほしい
50代	1か月～3か月	PCRと治療薬の拡充
50代	1年以上	政府は認識がなさすぎる後遺症は2種類ある 私はワクチンは未接種のコロナ感染回復後 後遺症になったワクチン後体調不良のコロナワクチン後遺症もある
40代	1年以上	全面的な治療費用、生活の経済的支援
50代	1年以上	10に同じ
50代	1か月～3か月	しっかり予算をつけて、状況把握、改善に繋げて欲しい。 それこそ、サポートセンター開設など。
30代	半年以上	政府は一心不乱にマスク緩和などコロナ対策を緩める政策に力を入れているが、 私のような後遺症に苦しむ人を増やし続ければ働き盛りの人が倒れていき国は破綻 と思う。 後遺症になる前に感染しないことがやはり大事なのでそこを適当にしないで欲しい。
30代	1か月～3か月	五類になっても、後遺症に関する治療を認めて欲しいことと、そういった病院や窓口 を継続して開設して欲しい。
50代	1年以上	相談窓口、治療機関をあきらかにし増やして欲しい。外出さえ、ハードルが高いこと を理解して欲しい。
20代	1年以上	まずはコロナ後遺症の治療に予算を注いで研究費用を大学病院等に出してほしい こと。つぎにコロナは風邪という認識を改めさせることですが、これは一度風邪と認識 したら改めない人間が一定数いる以上現実的ではないので、やはり後遺症の治療 に予算をさくことだと思います。ここまで蔓延した今、後遺症患者の数が減ることは ないので。
30代	1か月～3か月	マスクの正しい着用ルールの見直し。後遺症患者への医療費支援や、企業などへ の後遺症患者への休業補償などの義務づけなど。できることは全てやれ。世界的 にLong Covidが研究されているなか、日本はどんどん科学的なところから離れて いっている。広島サミットごときのために、我々の生活が踏みじられてなるものか。
40代	1年以上	後遺症の実態を明らかにして、はやく治療法を確立して欲しい。 腰の重い医師会に任せないで、情報収集と共有など、国が主体となって動いてほ しい。 沢山の科目の医師が治療に参加すべき
20代	1年以上	治療法の確立と、認知度を高める広報
40代	3か月～半年	異国民の排除
20代	3か月～半年	通学困難な後遺症患者へに対する学校の対応確立
10代	1年以上	通学できない子供たちの支援。家での学習支援。一階を教室にしてほしい。体育 ができない、動く悪化することへの、理解。将来、進学への支援。障がい者手帳 取得など。

年齢	期間	
50代	1か月～3か月	医者個人の裁量で治療が変わる、かかりつけ医や、ガイドラインと言う曖昧な制度に頼らず、医療の公共化を進めるべき。
10代	1か月～3か月	義務教育のオンライン対応、オンラインフリースクールの学費支援
30代	1か月～3か月	上記同様
20代	3か月～半年	後遺症患者に経済的支援が欲しい。 休職し、日常生活に支障をきたすレベルになると生きていくこと自体が辛くなる。お金がない事で何度も死にたくなった。少しでも生きていくための経済的支援が欲しい。
50代	1年以上	後遺症を受診できる外来を増やす、コロナ後遺症に関する情報発信、啓発
30代	1年以上	医療費補助
50代	1年以上	波はありますが、ほぼ寝たきりですので、そろそろ暮らしていけません
40代	半年以上	世の中は、コロナは終わったというムード。 コロナ後遺症の事をもっともっと対策してほしい。
80代以上	半年以上	有効な治療の早急な研究解明及びその普及、どこで有効な治療が受けられるのかの広報、
30代	1年以上	後遺症治療の研究。
30代	3か月～半年	もっと後遺症の症状を公にして欲しい
30代	半年以上	経済的支援
40代	3か月～半年	後遺症の存在を認めて補助金を出して欲しい
10代	半年以上	後遺症についての研究を深めるとともに、後遺症を診察してくれる病院が増えるように対応して欲しい。後遺症外来への金銭的なメリットの増加など。
30代	3か月～半年	一番は絶対に流行の抑制！（発生源対策、つまり予防）予防が一番お金がかからない対策。それにはPCR検査の拡充と、検査で判明した陽性者へは、なる早で抗ウイルス薬（ゾコーバでも）が行き渡る仕組み作り。ゾコーバは後遺症に良さそう。  鼻うがいの啓発（絶対に効果があるしほぼお金がかからない）  後遺症外来を保険診療で行う医師への支援。知見の集積、体系化と啓発。  後遺症で休職や失職を余儀なくされる人への生活支援。
40代	半年以上	後遺症外来を設置して下さい。
30代	1か月～3か月	減税。適度な労働時間で、生活や老後に不安を抱かずに稼げること。
40代	1年以上	後遺症対策だけでなく、新型コロナの対策がまともとは思えない。
20代	1か月～3か月	さっさと追究してくれ
30代	1年以上	治療法を見つける事

年齢	期間	
40代	半年以上	新しい疾患なので治療法をすぐに確立するのは難しいと思いますが、『後遺症のような症状が出ることもある』ということを知って世間に認知してもらいたいと思います。職場や家庭での理解がないのがまず辛いですが、医療機関でも理解してもらえないと本当に絶望します。
40代	3か月～半年	後遺症治療無料 何らかの支援
40代	1年以上	1つ上に書きましたが、合理的な治療の指針、つまりはデータの積み重ねとそこから導き出される答えを公共財とすることが医療費の削減や患者の負担減に繋がるでしょう。
30代	1か月～3か月	長期的な視線が必要。軽症であれども、確実に生活に影響があると感じた。明らかに後遺症とわかる、重症者だけを救うだけではなく、軽症でも困ってる人は助けてもらえるように、幅広く対応して欲しい。
40代	1か月～3か月	後遺症と思われる場合の診察や投薬の費用を負担してほしい
40代	半年以上	生活保護だろうが扶養に入っていようがどんな人でも経済的支援は必要です。後、私は寝たきり生活も経験したので一時的でも良いから介護サービスを受けられる様にして欲しい。
30代	半年以上	後遺症の治療等に対する研究への助成等。社会的な理解促進(パフォーマンス的ではない形で...)。経済的支援も求めたいが、逆に非理解者からのバッシングが強まりそうなので、慎重に...
40代	3か月～半年	子育て中の母親です。子供の日常の世話や 様々な送迎など、後遺症によって出来ないことがかなりあり とても困っております。通院の手段も、普通には動ける状態ではないので 支援があると助かります。
30代	半年以上	研究費を出すことと、実態を把握しようと動いてほしい。
40代	1か月～3か月	後遺症患者がたくさんいて苦しんでいることをきちんと認めること
50代	1年以上	徹底的かつ迅速な治療法の開発・発見 医療費の多少の負担 低レベルな労務管理の組織への強い指導
50代	1年以上	早急に後遺症で苦しむ患者の実態を把握し、生活支援をしてほしい。 また、治療につながる研究を一刻も早く進めてほしい。
20代	1年以上	後遺症の研究と周知
20代	1か月～3か月	医療関係者への待遇改善、コロナを2類のままで維持、 鼻うがいと亜鉛接種の呼びかけ

年齢 40代	期間 3か月～半年	<p>罹患して思うのはこのウイルスは太く短くというより、細く長く続くという感覚です。ウイルスに罹患した後、どうしてぼんやりとした症状が長期継続するのか、あの長期間の倦怠感の理由が知りたい。そのための医療分野の研究のための投資は今後の疫病対策に役立つと思います。</p> <p>これは話が全く違うかもしれないが、感染された元来、病弱な方や高齢の方々の辛さ、不安などは相当なものだと思います。 最近のネット社会の波に乗り切れない人々は本当に孤立している感覚がします。スーパーやコンビニでさえセルフレジになり、孤立は深まる感覚があります。利便性追求が人に不安を与えているのは確実です。元来、人間関係はスクリーン越しではないはずで。</p> <p>もっと話が飛びますが、私の近所(大田区池上)では年配の方が一人で古い自転車に乗り、共産党の旗をつけて拡声器を小さい音でつけて回っています。誰に媚びることも守られることもなく一人だけで堂々と行動をしている。彼を素敵だな～と思います。</p> <p>また、過去に父の転勤先で私の母が孤立して一人で国道沿いの草むしりをしているとき、「お手伝いしましょうか」とそっと声をかけてくれたのは共産党の方一人のみでした。</p> <p>私はそのような共産党の草の根的な行動が大好きです。政治に全く興味がない私ですが、共産党には愛がある、そう感じます。 いつまでも声を持たぬ弱者の味方、代弁者でいてください。</p>
80代以上	1か月～3か月	PCR検査の無料化、配布、難病認定
40代	1年以上	寝たきりで働けない身体になった人への経済的補助
10代	半年以上	<p>①感染対策として学校でのマスク着用と定期的で頻回のPCR検査、空気清浄機の設置の義務付け予算付け。 もうすでに私の子どもはコロナ後遺症で苦しんでいる状態です。もう一度コロナに罹患したら次はどうなるかわからないのがとても恐ろしいです。徹底した感染対策を子どもが何度も感染しないように防いでほしいです。もちろん、マスクをしない青春も大切かと思いますが、それでも何度もコロナに罹って命をなくしたり、糖尿病になってしまったり、心臓病になったり、ブレインフォグや、血栓、男性の精子の減少などになって子どもたちの将来がなくなってしまうことは引き換えにはできません。</p> <p>②コロナ後遺症に罹ってしまった子どもへの救済。 現在、コロナ後遺症は学校では対応できない事態です。何らかの救済案を出し、長期の障害を負った場合でも成長後社会で働き生活できるようにサポートしてほしいです。</p>
10代	1年以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・治療法についての研究をもっと強力に進めて欲しい。少なくとも現段階得られた知見は速やかに多くの医療機関に共有してもらって、医療機関による差がなるべく小さくなるようにして欲しい。</li> <li>・多くの医療機関で対応してもらえるようにして欲しい。</li> <li>・病態に関する世間の理解が乏しく、対応に困ることがある。せめて学校の先生にぐらい正しい理解を広めて欲しい。(具合が悪いと訴えているのに、学校行事に出る事を強く要求された。結局行事に参加して具合が悪くなった。)</li> <li>・リモート授業の待遇を変えて欲しい(リモート授業はある程度してくれたが、出席にならない)。またリモート授業を選択制にして欲しい。</li> <li>・効果がありそうな治療法は医療保険を使えるようにして欲しい。</li> </ul>
40代	半年以上	金銭的補償。

年齢	期間	
10代	1年以上	本当に子供の将来が不安でたまりません。後遺症による将来の生活保証の確約をしていただきたい。
50代	1年以上	コロナ後遺症の治療研究に補助金を付けて欲しい、コロナ後遺症外来の保険点数を上げ欲しい、コロナ後遺症外来だけではクリニックの経営が厳しいとの事みたいです
30代	1か月～3か月	症状に応じた後遺症外来を増やして欲しい。 経済的支援や、症状が回復するまで仕事を休める社会を作って欲しい。
30代	1か月～3か月	絶対に、軽視しないでほしいです。 日によって、時には時間によって体調が変化し、上がったり下がったりする熱や出たりおさまったりする倦怠感に振り回され、疲労が蓄積します。 私はまだ軽症だと思いますが、水面下で闘っている人がいることを蔑ろにしないでください。
40代	半年以上	体力の低下と外出するたびに体調不良となるため、出社がむずかしい。在宅勤務ができるような制度を国が主体となってつくって欲しい。
50代	1年以上	経済的、送迎、対処できる医療機関の充実 未だに↓のような理解ない医師がいる 元々の持病の関係で近所の内科を受診した際 後遺症の事を話したら「はっ？」と馬鹿にされ 鼻で笑われた
40代	3か月～半年	1) 病院で陽性者やクラスターが出た場合には、公表を義務づけてほしい。患者や利用者がほとんど見ないであろう病院のホームページのお知らせには掲載するが、通院患者やデイケア利用者には一切知らせず、入口での掲示や職員からの口頭説明も一切しない病院がある(成城リハケア病院)。理学療法士は患者にや利用者との身体接触も多いのに、アルコール消毒液を個別に持っておらず(コスト削減のため個別に消毒液を配布しないという掲示が一階の洗面所にあった)、クラスターの発生後も変わらなかった。保健所の指導体制も一体どうなっているのか。3階の入院棟での発生が多いが、入院患者も2階のリハビリフロアや検査に来るし、階をまたいで職員の行き来もあり、エレベーターも2台しかないため、入院患者や職員、デイ利用者、外来患者の導線も分かれていない。クラスターの発生事実を知らされていれば、しばらく通院や利用を控えたり、他の患者や利用者の付き添い人や関係各所も早めに検査を受けるなど早期の対策を講じられたと思う。2) 成城リハケア病院は、入院は30床あり、外来やデイケアは1日で100人近くいるが、ソーシャルワーカーが入院調整しかせず、外来患者やデイ利用者が相談したいことや病院の対応で調べてほしいことがあっても院内のどこにいるかも分からず、専用の相談室や電話回線もなく、相談者の秘密も守られない。東京都で公表している病院の相談室の設置状況も、議会は確認すらしていないのか。日頃の医療体制に対する監査もしっかりしていないのではないのか。後遺症は、早く治療薬がもらえることが必要で、周りでクラスターが出たらいち早く関係者に知らせて検査を促す体制になってることが必要だ。3) 国が矛盾した対策を講じたり(蔓延期にわざわざ旅行支援)、空気感染の濃度の定点観測や空気清浄機の効果、ウイルス量の変化(7日後も排出あり)などデータを示さずにいる。感染した人は、ワクチンはどのくらい経過したら打つのか、など基本的な情報もない。
40代	1年以上	実態を周知させること。
30代	半年以上	経済的支援、社会に対して後遺症の情報をもっと配信してほしい
40代	1年以上	経済的支援、対応できる医療機関や医師数の増大。
30代	3か月～半年	上記全てです。何よりも、最新の海外の情報も含め患者がアクセスできる医療機関の一覧を作成してたい回しを防いでほしいと思います。

年齢	期間	
40代	1年以上	基本的な感染症対策と中小企業への経済支援
70代	1か月～3か月	コロナ後遺症の存在をはっきりと認め、治療の遅れは本人が苦しいだけでなく、社会的損失でもあるという考えにたち、病院での保険適応による治療につなげるよう、県や医療機関に要請すること。
40代	半年以上	働きたくなくて働かないわけではないのに、周りの無理解で仕事・お金・地位・プライド・モチベーションいろんなものを失った。仕事に戻るためにも生活の支援をお願いしたい。
30代	1年以上	<p>■総数の把握 統計上、300万人以上の後遺症がいますとされています。実数を把握し、社会問題としてまず認知してほしいです。</p> <p>■これ以上後遺症患者を増やさないために認知を増やす コロナ罹患・回復後、2カ月無理をしなければ後遺症症状が改善・発症しないという研究があります。出来るだけ患者が増えないよう、2カ月無理をしないよう周知徹底してほしいです。 これは、詐病扱いされないためでもあります。</p> <p>■医者診察報酬の引き上げ コロナ後遺症の診察は継続の診察でも20分、初診では1時間程度かかります。でも、診察報酬は3分で診察が終わる風邪と同じと聞きます。 これでは見てもらえるお医者さんがいなくても仕方ありません。 コロナ後遺症を見てもらえるお医者さんの診察報酬を引き上げてほしいです。 でも、患者にこれ以上金銭的な負担が行かないよう、コロナ後遺症の治療も公費負担にしてほしいです。</p> <p>■PCRを受けていない患者もPCR陽性患者と同じように扱う 私はPCRを受けられておらず、コロナ後遺症はあくまで疑いです。確定診断のための検査がもうできないからです。でも、PCR陽性の方と支援において差が出ないようにしてほしいです。 現状、治療はPCR陽性の方のみなど、既に差が出てきています。治療では仕方ないですが、行政支援では平等にしてほしいです。</p> <p>■後遺症患者への経済的支援や家事の補助などのサービスの拡充</p> <p>■ME/CFSの難病指定 ME/CFSにもっと注目してほしいです。コロナ後遺症が悪化するとME/CFSに遷移します。</p>
60代	半年以上	介護、生活援助
20代	1年以上	コロナ後遺症の周知、研究
40代	1か月～3か月	コロナ禍初期の頃のような手厚い支援。(感染者、回復者共に)
60代	1年以上	後遺症に対応する医療機関を増やして欲しい。
50代	1年以上	後遺症治療の診察報酬を増やせば診てくれる先生が増える。今のように風邪とおなじ診察報酬では診てくれるありがたい先生ほど金銭的に苦勞されてる理不尽な状況が続く。先生の病院が潰れたら患者は路頭に迷ってしまう。
30代	半年以上	後遺症の存在を認めて社会保障費を出して欲しい
60代	1年以上	コロナの後遺症が存在するというを国民に周知することが大切だと思います。

年齢	期間	
50代	1年以上	風邪症状があれば病院に行けないのに、風邪が治らなきゃどうやって相談すれば良いのか？検査と隔離、放置、治そうと思ってるとは思えない。医者も国も他人事だ、治らなければずっと自己隔離で社会的に抹殺されている。私は誰かにうつされたのに、人に移さないようにこの3年間何もできずに苦しんで、移した人は元気に社会生活を送ってる、不公平だ！！
20代	半年以上	ゾコーバやパキロビッド、その他の西洋薬に関するRCTが各国で進んでいるため、それらの結果なら基づいて早期に後遺症治療に繋がられるように予め準備しておいてほしい。
30代	1か月～3か月	受診がしやすくしてほしい、後遺症に対しても無償であるべき
30代	1年以上	科学や根拠に基づく感染症対策、お気持ちで制度を変えることのないまともな対策、補助金など中抜きのない公的な支援
30代	1年以上	多少給料を落としても後遺症の状態に応じて週4勤務、週3勤務など選べる仕組みを作ること。
50代	半年以上	後遺症をちゃんと把握して、理解してほしい。あと後遺症診察の点数が低いので診察してくれる病院が少なすぎる。こうしたアンケートだけでも嬉しい。ありがとうございます。
30代	1年以上	国をあげてもっと後遺症治療の解明に力を入れて欲しい。平畑光一先生をもっとサポートして欲しい。経済的困窮した人々を助けて欲しい。家事、子育てサポートが欲しい。コロナ罹患後2ヶ月は無理して動いてはいけないことをもっと明確に伝えて欲しい。
30代	3か月～半年	後遺症患者の実態把握につとめ、補助をしてほしい。 後遺症外来を増やせるよう、病院の診療費の補助などを行い、多くの病院でみられるようにしてほしい。 後遺症外来の数が少なく、近所ないと、遠出またはオンライン診療になる。 遠出ができず、オンライン診療も混んでいて、受診が深夜に及ぶことがザラなので、近所で診てもらえるようになると助かる。
50代	3か月～半年	原因の追求と有効な治療法の確立
50代	半年以上	各制度の狭間を埋める。 子育て世帯と高齢者世帯に限るような支援は止めて欲しい。
10代	半年以上	まずは精神疾患ではなく、後遺症により身体の不調があり闘病を余儀なくされている人がいることを発信してほしい。
50代	1年以上	コロナ感染時だけではなく、感染後のケアは必須だと思う。周囲にも味覚障害で苦しんでいる人はわたし以外にもいたので、わかっていないだけでたくさんいるのでは？
10代	1年以上	後遺症患者を認定し、治療費(コロナ患者には出していた様に)を負担して欲しい。
80代以上	半年以上	コロナの後遺症も必要かもしれませんが、ワクチンの後遺症も調べもしないで因果関係不明はおかしいので実態調査を隠蔽せずにするべきです
20代	1か月～3か月	医療機関へのアクセスしやすさの強化。発熱外来を断れ続けて本当に困ったので。
60代	1年以上	後遺症の存在を政府として広報する。後遺症に対応する保険点数を増加させる。

年齢	期間	
30代	3か月～半年	後遺症患者への支援
40代	半年以上	医療機関を増やして欲しい。山口県ではコロナ後遺症で受診出来る病院が1つしかない。総合病院に行ってもコロナ後遺症として見てもらえず、診断書さえ書いてもらえなかった。コロナ後遺症を見てくれる病院をネットで情報発信して欲しい。とにかく山口県は遅れている。世間にもっとコロナ後遺症の情報を発信してもらいたい。中々理解されない中で長期休むのは精神的にも辛い。
30代	半年以上	少なくとも罹患リスクをへらすための対策は続けて欲しい(マスク着用等のルール) そうでなければ度合いによっては補償が欲しい。
40代	1か月～3か月	まだどんな後遺症があるかも明らかになっていないのにここまで感染対策を緩めてよいのか。かからないに越したことはないと思うので。
30代	1年以上	収入がなく母子家庭なので貯金を切り崩して生活をしています。仕事をして収入を得たいですが無理をして悪化して働けない状態です。他にも生活が困窮してる同じような方がいると思います。支援をお願いしたいです。
50代	3か月～半年	早期の検査と投薬。隔離期間の延長。安静期間の設定と休業補償。
40代	1か月～3か月	後遺症が残る方の把握。後遺症についても医療費支援がほしい。受けられる支援について相談窓口を分かりやすく教えてほしい。
40代	半年以上	補助金と後遺症治療の研究
50代	1年以上	コロナ自体でも、後遺症でも苦しむ人は必ず出て来ます。 世間が開放的になっていく流れだけれど 自己判断に委ねるだけでなく こういうリスクがある事を忘れずに伝えて続けてほしいです。 誰でも気をつけていたとしてもなりうることだし、そうなった時の周りの受け入れ体制、きちんとした理解をしてくれる医療、行政、職場環境、経済的な支援を整えて、偏見のない暮らしやすい世の中にして欲しいです。
30代	1年以上	ワクチン後遺症に支援を
50代	1か月～3か月	保険で全額支払ってほしい。
40代	1か月～3か月	私自身は学校に勤務していますが、後遺症が残り退職に追い込まれた先生や学校に登校できない児童生徒もいます。また、私の子どももコロナ感染後に体調不良で登校できない日が増えていきます。学ぶ意欲があっても後遺症による体調不良で登校できない児童生徒の学習の機会を保つために、一般の不登校と同様にオンライン授業やネット学習の活用を図れるようにしていただけませんか。
30代	半年以上	中小企業や末端の医療現場など日常的に休みを取りづらい現場(インフルエンザやノロウイルスの症状が強く疑われる場合でも病院にかからず出勤しろと言われるような現場)に対して政府から支援や後押しをして欲しい
30代	1か月～3か月	まず後遺症として認めて、保証すること。ワクチン後遺症も認めること。
20代	1年以上	後遺症の医療費を無料にする。これまでかかった治療費の負担。対症療法ではなく新薬の開発。
40代	1か月～3か月	咳をしているだけで嫌な目で見られる風評被害を対策をして。
40代	1か月～3か月	家族が陽性確定なら判定に失敗したとしても同居家族を陽性とみなしてほしい。信頼できそうな検査キットは無駄に高いから、何度もセルフで検査なんてやってられない。

年齢	期間	
40代	1か月以内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検査でコロナと判明したら迅速な治療薬の処方</li> <li>・病院以外でいつでもPCR検査が出来るようにする</li> <li>・働けない通学出来ない人に現金を支給。学生の場合オンライン授業を受けることが出来るようにする</li> </ul>
20代	3か月～半年	後遺症治療の研究の支援に力を入れて欲しい。
30代	1年以上	医療費や生活費の経済的支援。治療法の開発に投資。rTMSや高圧酸素療法、星状神経節スーパーライザー等の普及・保険適応。
30代	半年以上	まずは理解していただきたいです。議員の給料を少しずつ減らしてでも経済的支援をして頂きたい。
20代	1か月～3か月	後遺症があるときにどうしたら良いか、案内が欲しかった。具合が悪いときに自分で調べるのはつらい。
30代	半年以上	複数の治療を後遺症治療と認定して、支援金が欲しい。
40代	1か月～3か月	ワクチン、検査、治療薬の拡充
20代	1か月～3か月	後遺症も支援して下さい！後遺症の理解をもっと広めてください(動くが悪化してしまう事など)
30代	3か月～半年	生活や治療の補償の他、適切な後遺症への治療をしっかり医師のかたたちが学んでほしいです。
50代	1年以上	新型コロナウイルス感染後遺症、及び、新型コロナウイルスワクチン後遺症について、政府は正式に認め、救済対応施策(保障・労災、経済支援、医療・研究支援、臨床現場レベルの医療体制)を至急実施すべき。
50代	半年以上	積極的に実態を把握してほしい。働けなくなった人がたくさんいるはず。後遺症外来の病院が増えますように。
30代	1か月～3か月	最低限として、コロナ感染とコロナ後遺症の実態の調査、データ収集、検証、補助の検討と実施。そしてそのデータのすべてを包み隠さず国民に開示すること。
50代	1か月～3か月	診察して下さる病院への補助金を増やして欲しい。
40代	3か月～半年	公的な金銭的補償を充実させてほしい
50代	1年以上	後遺症の研究と治療法確立に向けて予算を捻出してほしい。後遺症患者の治療を保健対象にしてほしい。未だに後遺症を精神的なものの一蹴する医師がいるので、啓蒙をしっかりしてほしい。
60代	3か月～半年	後遺症患者への医療費援助
40代	1年以上	障害年金の適応など失業後の経済支援
20代	1年以上	支援施設や支援金。治療機関の設備。
40代	1年以上	傷病手当金の延長

年齢	期間	
30代	1か月以内	このようなアンケートで実情を知ること、後遺症者VS非後遺症者のような対立を煽らないようにすること(後遺症の実在性について争うこと)
50代	1か月～3か月	医療機関の支援。研究の支援。
30代	半年以上	後遺症の実態把握、周知、対策。本来数ヶ月で治るものが、年単位でかかるとなると、労働力の減少につながります。キャリア形成で大切な時期に働けないのは辛いです。
20代	1か月～3か月	お金 医療の発達
20代	1年以上	後遺症があることを世間の共通認識にして偏見をなくしてほしい。医療費を補助してほしい
10代	1か月～3か月	後遺症に対しても補償をして欲しい。5類になれば一体どうになってしまうのか不安です。
30代		倦怠感が酷い時はスマホを持つのすら出来なくなるくらい動けなくなります。そんな時は無理しても働くなんでできません。そもそも動くことが難しいのです。スーパーやコンビニに行くことも難しくなります。でも食事や日用品を配達してくれるサービスを安く利用できたらとりあえず生き延びることはできます。この薬を飲んだら治る、良くなるという治療法が無い今は、殆どのコロナ後遺症患者さんにとって必要なのはひにちぐすりな面もあります。その日にちを生き延びる為に政府が面倒を見てくれたらこれ以上助かることはありません。
50代	3か月～半年	実態をきちんと調査して発表してほしい。
30代	3か月～半年	政治に関わる人全員がcovit-19に対してきちんとした知識をつけて欲しい。
10代	半年以上	現在、後遺症としての認知度がかなり低く、(公立)学校の対応も納得のできるものではありません。それぞれの学校に対応を任せるのではなく、ガイドラインを設けるなどして、子どもが後遺症を患っていても将来(進学や就業)への希望が持てるような対策を考えていただきたいです。
40代	1年以上	感染抑制行動の推奨 後遺症の研究および知見の公開 診察の機会保障および治療費補償 労災を積極的に認める 休職中の経済保障
40代	3か月～半年	有効な治療法の確立を支援する
30代	1か月～3か月	後遺症で働けない間の給与確保
60代	1年以上	後遺症があると認めて頂きたいです。
10代	半年以上	10にも書いたように血液検査や薬代が高く保険が効いて欲しい

年齢	期間	
30代	1か月以内	ネット上の情報も錯綜しているため、症状に伴った、適切な医療機関へのアクセスを示してほしい。 また、経済的に不安定な家庭には治療費の支援も行ってほしい。
30代	3か月～半年	対策も大切ですが、まずは後遺症がどれだけいるのかこのアンケートを通して把握、世に公開してほしいです どれだけ苦しんでいるのか政府、国全体での認知が必要かと思います
30代	1か月以内	ちゃんと実態を把握し、医学的、科学的知見に基づく調査研究をするよう真剣に考えていただきたい。旅行支援などに無駄金を使っている状況ではない。ふざけた政治も大概にしていきたい。
40代	半年以上	後遺症で苦しんでいる人の悩みは大きく3つあると思います。 ①改善しない(またはどんどん変わる)謎の体調不良 ②経済的負担 ③精神的負担 です。 なので、 ①後遺症を医療の面から研究して解明するための予算 ②後遺症患者の認定、経済的援助 ③健康な人に、後遺症を正しく知ってもらうための啓蒙活動を強く希望します。  マスクを外そうが5類になろうが、残念ながら後遺症患者はこれからも増えていきます。 多くの方々がいたずらに人生を棒に振ってしまわないように、また社会的損失がもっと大きくなってしまいう前に、早急に対策を講じて頂きたいと思います。 よろしくお願いいたします。
30代	半年以上	ヒラハタクリニックの平畑先生が、コロナ後遺症の診察、広報、治療法開発に尽力してくれているので、彼の活動の支援をしてほしい。
30代	3か月～半年	・コロナ感染予防の継続(マスク着用・隔離解除後も感染リスクがあるため外出を避けるなどの注意喚起) ・若年、中間層のコロナ感染時の抗ウイルス薬内服許可(この世代が日本経済を担うことを考えると、コロナ後遺症はそれを揺るがす疾患だと思います。後遺症のリスクを軽減できる抗ウイルス薬内服適応年齢を広げて頂きたいです。)
40代	半年以上	10での回答と合わせて、コロナ後遺症への診療報酬を上げるなどして、後遺症を見てくれる病院を増やしてほしいです。
30代	1か月以内	陽性になった時点で後遺症対策に多めに薬が欲しかったです。
40代	1か月～3か月	ある程度のサポートがほしい。こういった症状ならばこういったことが効果的なのかもわからないし、この症状が後遺症とっていいのかも素人にはわからない。病院にいても疲れからですかね、とあまり親身にはなってもらえない。仕事も集中できずに生活にかかっている。
30代	3か月～半年	後遺症と診断されない どうしたら後遺症となるのか ボーダーラインを提示してほしい。  診断がないと企業からも怠けとみなされ 支援が受けられない

年齢	期間	
50代	1年以上	身体的、経済的にとても多くの方々が困っています。早急に政府として対策を進めていただきたいです。
40代	半年以上	支援金
10代	1年以上	後遺症治療の研究、医療費補助、学校関連(オンラインでも出席扱い)
40代	半年以上	真面目でまともな後遺症外来をしている医師への報酬増加。ちゃんと診療してくれる医師が増える事が大切だと思います。
70代	3か月～半年	感染し発症期間から家庭放置なので、後遺症対策も当然ない分けです。
10代	1年以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校を含めた社会全体で理解を深め、学びたいけど通学できない子への対策をしてほしい。</li> <li>・医療費を補助してほしい。</li> </ul>
40代	半年以上	<p>後遺症の原因を突き止めて、治療法を確立するための研究を進めてください。治らないと生きていけない人とその家族がたくさんいます。</p> <p>後遺症外来が増えても、治療法がないのでは、意味がありません。治らない、治療法はない、家で安静にと言われ続けるために受診するのは医療費の無駄でしかありません。</p> <p>現在の医学で治せない病なのであれば、病とともに生きざるを得なくなった患者とその家族に対する援助をお願いしたいです。</p> <p>患者とその家族の人生はコロナウイルスに感染し、後遺症で壊れてしまいました。いつの日か、治療法が確立する日まで、患者が絶望から命を断つことのないよう、生活を支え、研究が進んでいるという希望を示して下さい。</p> <p>日本よりも海外で先に研究が進んでいると聞きます。海外で成果があがった治療法はいち早く、日本でも、保険適用で受けられるようにしてほしいです。日本での治療も進むように積極的な援助をしてほしいです。</p> <p>患者とその家族は、コロナ後遺症(筋痛性脳脊髄炎(慢性疲労症候群))が治ることを望んでいます。そのために、国が大規模な費用を投じて研究を進めてくれることを願います。</p>
40代	3か月～半年	<p>私のように働けず、日常生活もままならない人をこれ以上増やさないよう、まずコロナにならないよう感染対策を徹底して欲しいです。</p> <p>この倦怠感は、ただの筋力低下やダルさ、眠気といったものとは全く異なります。頭もうまく働きません。</p> <p>また、後遺症についてしっかりと調査統計をとっていただき、対策を実施していただきたいです。</p> <p>また、後遺症は診療報酬が少なく、医師も診たがらないと聞きましたので、その点も改善されて欲しいです。</p>
30代	1年以上	<p>後遺症外来がすごく混んでいて、診察が深夜3時になったりします。睡眠がとれないと、翌日の体調にも影響します。後遺症を診てくれる医師がもっと増えてほしいです。</p> <p>この病気を広く知ってもらいたいです。</p>
50代	1年以上	新薬の研究。
20代	1か月～3か月	コロナ後遺症治療(鍼灸・整体など含める)は全て保険適用にするべきです。
30代	1か月～3か月	後遺症外来への手厚いえんじょ
40代	1年以上	対策をしてもらいたい。私以外に苦しんでる人は山ほどいると思います。
10代	半年以上	学生に関しては、リモート授業でも単位がもらえるようにして欲しい。

年齢	期間	
30代	1か月～3か月	まず、後遺症において分かっていることを明示し、それに対する支援を行って欲しいです。後遺症がある中で、再度コロナやインフルに感染してしまうと、悪化の一方になりますし、5類になってマイノリティが切り捨てられてしまうこと納得いきません。元々の身体の弱い部分や、自病が悪化してしまうことは明らかですので、支援をお願いします。
40代	半年以上	会社へ後遺症の休み等の支援
40代	1か月～3か月	経済的、医療的援助
30代	半年以上	後遺症の研究をすすめてほしい。研究費、勉強会など熱心にとりこんでほしい。医者でも理解できてないひとがおおすぎる。
30代	半年以上	後遺症の患者が一定数いることを知ってほしい、後遺症患者への支援をお願いしたいです。
50代	3か月～半年	後遺症を病気として保険適応として欲しい。又、退職してしまうと社会保障が受けられないので、相談期間、窓口を設けて支援を受けられる体制を作って欲しい。後遺症は罹患後に暫くしてから発症することが多いので、社会的に治療出来る環境、就労の仕方等を整える、理解を進めて欲しい。
30代	3か月～半年	5万でも10万でもいいから支援してほしい。 精神的な病気の人には手帳をとれる可能性があっても後遺症にはない現状
40代	1年以上	まずは後遺症者がいることを認める事、特に「第一波のPCR検査抑制」のため検査を受けられなかった後遺症者もいる事を認めて欲しい。補償をしてほしい。いなかったことにされたくないです。
30代	半年以上	後遺症の存在を明らかにしてほしい
10代	1年以上	学校に行けず中退扱いになり将来が不安なので学歴で決まる今の日本をコロナの後遺症でダメになるような将来をなんとかしてほしいです
10代	半年以上	マスクの徹底、無料でPCR検査してもらえ体制、教室に空気清浄機を設置するなど。海外に、我々の血税をばらまく前に、後遺症対策、金銭的援助、全数把握を！ワクチン後遺症の人達にも、ちゃんと保障を！死亡した方々への保障も望みます！
40代	半年以上	医療体制、カウンセリング体制、欠席に対する学校の単位制度への援助と理解
10歳未満	1か月～3か月	まず学校で、マスクを外すのはあり得ない。あの狭い教室で、唾を撒き散らし、接近して大きな声でしゃべり、遊び、朝から晩まで密接密集している子供達の現実知ってますか？マスクは最低限必要！空気清浄機も、換気も、消毒も！
40代	半年以上	病院側にも後遺症を周知してもらうように徹底して欲しいです。
50代	半年以上	後遺症は気のせいなどではありません。現実に苦しんでいる人はたくさんいます。周りから怠けているように思われて理解されないのは本当に辛いです。後遺症で働きたくても働けない人は大勢います。政府には後遺症の実態把握と治療法についての情報集積、またその情報の開示、それと後遺症についての社会への認知を希望します。

年齢	期間	
30代	半年以上	<p>コロナ後遺症についてのポータルサイト(外来病院の案内、論文の掲載、信頼できる研究者などからの話などの掲載、経験者のインタビューなど。個人差があっても一致してる部分があると安心したので)</p> <p>雇用の保証や企業への理解の働きかけ(コロナ後遺症で休職、復職するのが社内で初めてな上、コロナ後遺症は数値に出にくい主訴しか根拠がないので判断のしにくさが伝わった)</p> <p>社会的な理解を広げるための啓発活動</p> <p>給付金(傷病手当金の支給までに時間がかかるのでその間の保証)</p>
30代	1年以上	<p>治療の確立</p> <p>経済的支援</p>
40代	1か月～3か月	後遺症外来と休業補償
40代	1か月～3か月	<p>後遺症で疲弊している患者自身に病院を探させるのではなく、どんな病院を最初に受診したとしても後遺症に対して知識や経験を持ち治療にあっている病院へ紹介してほしい。患者は好きでドクターショッピングをしているわけではなく、後遺症による症状が複雑すぎてどの病院に行けばいいかわからず疲弊している人はたくさんいます。</p>
40代	1年以上	後遺症外来の拡大と受診の際の金銭的な支援
30代	1か月以内	症例・規模の把握と対策の提案・提供
50代	1年以上	生活困窮支援(治療費生活困窮支援)
30代	1年以上	研究を進めて有効な治療方法を見つけて欲しい。見つかるまで生活を保証して欲しい
50代	半年以上	<p>5類にすることは反対</p> <p>学校関係の非常勤もしているため、すべての学校に空気清浄機位入れてからマスクを外せとって欲しい。</p> <p>学生だけでなく非常勤講師が働けないと、学校が講義提供できなくなります。また、非常勤は兼務先が多く実務系講義は授業変更もままなりません。</p> <p>感染者にまともな検査もせず、無症状感染者のデータもなく、感染後の健康アンケートも取らず、何を基準に政策提供できるのでしょうか？単純に疑問を感じます。</p> <p>感染者にその後の体調のアンケート位取るべきです。</p> <p>どのような後遺症のパターンがあるかわかれば、もっと受診もしやすくなります。</p> <p>後遺症が何かもわからない状態で大変不安です。</p> <p>これより酷くなったときにどうすれば良いか、どこで見てもらえば良いか、自治体に情報はありますか？</p> <p>まず国民の健康と生活を守ってください。</p>
50代	1年以上	<p>◇ 後の身体の不具合をアンケートをとって広めてほしい。反ワクとひとくくりにして◇ 後に亡くなった人や後遺症に苦しむ人がいないかのような発言をやめてほしい。</p>
10代	1年以上	経済的支援、原因解明への研究、専門医を増やす、都市部だけでなく全国に専門医がいる医療機関を増やす、海外の研究を含めた幅広い情報の提供
40代	1年以上	3, 8
10代	1年以上	医療費の支援や仕事をしていただけ辞めたり休んでる人の支援をして欲しいです。

年齢	期間	
50代	1か月～3か月	後遺症自体の存在を広く知らしめること、後遺症治療に尽力する医療関係者、関係機関に、相応の支援をすること。政府がやるべきことを、民間の医師たちがボランティアでやってくれています。
40代	半年以上	もっと世の中に知って欲しい
50代	1年以上	医療費を無償
70代	1年以上	ワクチンの害を認めて即中止。マスクも有害即中止。
40代	1か月～3か月	無能な政府がコロナを広めたんだから、後遺症の症状をきちんとみとめて治療費を払って欲しい。
50代	1か月～3か月	後遺症を曖昧なものにせず、研究費も増やしきちんと原因や治療法を究明してほしい。
40代	1年以上	経済的支援。復職支援。社会啓蒙。
20代	1か月～3か月	後遺症による休業等への物資的、経済的支援 また、病院への経済的支援
40代	1年以上	疾患周知のための啓発活動、働けず収入が減った・絶たれた患者を救済する制度の確立
40代	1年以上	後遺症があると認め研究を進めてほしいのと、障害に対して対応してほしいです。
50代	半年以上	きちんと後遺症の事を知りどれだけ苦しんでいるかを知って目を背けず人間らしい生活を送る事ができるようにしてほしい
40代	1年以上	・症状の種類・期間・受診科などの一般への周知 ・できれば経済的支援
30代	半年以上	上記支援へのアクセスのしやすさです。
10代	1か月～3か月	コロナ後遺症専門外来の支援
50代	1か月～3か月	後遺症外来の支援と推進
20代	半年以上	経済的支援、コロナ後遺症の社会的認知の拡大
20代	半年以上	給付金
50代	1年以上	申請の簡素化 迅速に対象を広く
50代	1か月～3か月	症状に合う薬を配布してください
50代	1か月～3か月	経済的支援

年齢	期間	
20代	半年以上	他国と同様にワクチン接種の後遺症の存在を認め、リスクを広く周知すること、ME/CFSも含めLongCovidの研究の推進に必要な補助金を支給すること、ワクチン接種の後遺症は時間差を伴うことが海外の研究から判明しているのだから、アナフィラキシーショックのような接種直後から始まる副反応だけでなく、時間差で生じる蕁麻疹、ME/CFSなども後遺症として認め、医療費や障がい年金を迅速に支給すること。特に医療機関に診てもらえず、従って、政府と自治体の不作為によって、症状が最もひどかったときに検査を受けることができなかった被害者を救済すること。
30代	1か月～3か月	後遺症があることの周知、後遺症を看れる医師を増やす、後遺症の治療への補助金
40代	半年以上	コロナ後遺症の治療ができる環境を作ってほしいです。まだ後遺症に対して理解がうすいので、 休職して無理なく復職できるようにしてほしい。 本人でないとしんどさ、辛さが、わからないと思いますが、体が元に戻るまでにかかなりの時間がかかる事、決まった治療がないので先が見えず、不安がとても強い事を理解してほしいです。 仕事を休むことが周りに申し訳なく、つらく思う事もたくさんありました。
30代	3か月～半年	経済的・人的支援
20代	1年以上	後遺症を診断してサポートできる病院を増やしてほしい。後遺症専門窓口、今一応ありますがまっつっつ々々使えない
30代	半年以上	後遺症についての受診費用を負担する事や、思うように働けない事への補償、あとは本当に後遺症の実態を政府や世間や医者が理解して欲しい。
10代	1か月～3か月	オンラインで授業に参加できるようにしてほしい。
50代	1年以上	一般人のみでなく、病院の医師に後遺症に関する理解や知識を広めて欲しい。 公的支援の整備 経済援助を確立して欲しい
10代	3か月～半年	都心だけでなく地方、全国的に各県ごとに後遺症外来の情報、周知がほしい。 コロナ後遺症ガイドラインも治療の経過、治療薬の症例が何もなく、明確な情報の提示がほしい。 感染者数、コロナ対策ばかりニュースになり コロナ後遺症についてのニュース、情報はみない。
30代	1か月～3か月	コロナもそうですが、等しくワクチン後遺症の治療にも力を入れてください
20代	3か月～半年	後遺症で苦しんでる人にもう少し目を向けていただき、金銭的な支援だけでなく受診病院の増加等生きやすい世の中にしてもらいたい
20代	半年以上	後遺症で働けなくなった場合の収入の補填
10代	1年以上	後遺症をみていただける医療機関を増やして欲しい。治療法、治療薬の研究・開発、有効な薬があったら一刻も早く認可して欲しい。
30代	1か月～3か月	コロナ後遺症についてももう少し当たり前に受診が出来る世の中になるよう、先生方へ理解してもらえるよう働きかけて欲しい。どこへ行けばいいかわからず自分に合う病院を探すのが本当に苦労した。

年齢	期間	
40代	3か月～半年	都が発表している後遺症外来の診察医療機関を調べた際に、一般の内科からミトコンドリアや再生医療系まで、いろいろあり、何を信じたらいいのか分かりません。中にはかなり高額なものもあります。国としても適切で有効な治療やガイドラインを提示や指導してほしいです。また、とにかく情報が足りません。後遺症について発信してください
30代	1か月～3か月	後遺症患者の辛さをわかって欲しい。 後遺症になる人を減らすためにはコロナにかからない事が第一なのにどんどん感染者を増やすような政策(マスク不要や5類になる事による外出制限無しなど)をすること自体おかしいと思います。 5類になったからってウイルスが無くなるわけでも弱まるわけでもないです。きちんと対策して頂きたいです。
50代	1年以上	医療機関があまりにも無関心を装いすぎ。 ALSのような症状については、一切触れようとはしません。 しかも、『見たくないんだろうな』というようなことをいう医師までいるような始末… そして、症状の酷い間は、どこの医療機関もなかなか診療を継続もしてくれず、診断書も書かず、労災の申請もできないまま、申請期間が過ぎました。 症状の強い間は、認知症のような状態や、全身の症状や倦怠感、機能障害もあり、労災申請などできるような状態もなく、慢性疲労症候群の診断医にやっとたどり着いても、弁護士をつけない限り診断書は無理と言われ、しかも、私は兵庫県民ですが、兵庫県では後遺症を認める医師は一切おらず、神戸大学病院の医師さえも初期の頃は酷い状態でした… 医療の地域格差、そして、初期感染者への対応の悪さから、様々な格差をつけられている状態、これらを何とか公平性のあるものにしてもらわなければ、関東では医療に辿り着けたり、診断書に辿り着けても、地方ではたどり着くこともできず、泣き寝入りしている人は多数出てきているはずです。
30代	半年以上	早く研究して治す薬を作ってください!! 1日生きてるのが辛い状況なんですから!!
10代	半年以上	本当に治せる治療家から治し方を聞き取り、治る治療を全国に伝えること。
50代	半年以上	積極的な治療の支援。
70代	1か月以内	同上

年齢	期間	
50代	3か月～半年	<p>実現可能性や財源などを抜きにして、患者として希望することを書きます。</p> <p>①後遺症患者の実態調査。後遺症患者数・後遺症疑い患者数の公表。コロナ陽性者数・死者数と同様のイメージで、毎日公表。</p> <p>②後遺症を診療できる医療機関を増やす。理想は、内科診療所・精神科診療所すべてで診療を義務付ける。</p> <p>③後遺症診療について、診療報酬の加算。</p> <p>④後遺症の治療で自由診療を受ける際(鍼灸、サブリなど)、患者に金銭的補助。</p> <p>⑤後遺症患者に対するセルフケア(呼吸法など)の啓発・指導について、資金面での公的補助。</p> <p>⑥「治療と仕事の両立支援」で、コロナ後遺症患者を重点的に支援する。コロナ後遺症による離職を防ぐ目的。例えば下記。[1]支援機関職員、両立支援コーディネーターにコロナ後遺症の教育を義務づける。[2]療養・就労両立支援指導料の対象疾患にコロナ後遺症を加える(本来、対象疾患の制約がないことが望ましい)。[3]両立支援ガイドラインにコロナ後遺症を主要疾患として加える。</p> <p>⑦離職者の全数調査。コロナ後遺症を理由に離職していないか、使用者側の無理解や安全配慮義務違反、労災かくしがいないかの実態を調査する。</p> <p>⑧総務省の労働力調査で、コロナやコロナ後遺症(+ワクチン長期副反応)を理由とする離職がないかを質問項目に入れて、集計も公表する。非労働力人口に後遺症の患者が何人いるかも調査して公表する。</p> <p>⑨後遺症による離職者の就労支援。例えば、ハローワークに特設の相談窓口の設置、離職者に対するキャリアコンサルティング(離職者の金銭的負担を極力なくした上で)</p> <p>⑩後遺症による離職者を対象にしたスキリング(リスキリング等)の補助。例えば、求職者支援制度(生活支援給付金付き)のようなものを後遺症患者に使いやすいようにする。</p> <p>⑪コロナ後遺症に関する広報。コロナ後遺症の存在を全国民に知らせる。国や自治体は、教育教材の作成と実施支援。さらに、職場教育や、社労士などの有資格者への後遺症教育の推進。せめて「がん」の教育と同様レベルに。</p>
40代	1か月～3か月	後遺症外来を全国に作って欲しい。
10代	3か月～半年	研究をすすめること
50代	半年以上	後遺症の治療法の確立と5/8以降の5類に下がった後でも継続または今以上の患者への手当。2/3の傷病手当だけでは生活出来ません。本来働いていたら得られる給料と傷病手当金の差額を給付金として支給してほしい。尚且つ、傷病手当支給月の延長や支給中の医療費の免除や減免などが必要だと思います。
60代	半年以上	後遺症と考えられる症状の具体例をあげて、何科を受信すべきか指南書を提示して欲しい。
10代	1年以上	無症状のコロナの後遺症なのか ワクチンによる後遺症なのか 原因不明だが、ワクチンへの疑いが強い ワクチンは本当に安全といえるのか
40代	1年以上	韓国のように電車の優先席はいつでも健常者は利用できないようにして欲しい。ヘルプマークを付けていてもラッシュ時は誰も席を譲ってくれない。ラッシュ時に座ることができれば出勤することができるがそうでないため自然退職を余儀なくされる。他の障害を持つ人にもニーズはあると思う。
30代	1か月以内	なし。まわりを見ても無視していいレベル。

年齢	期間	
40代	半年以上	身近な医者が後遺症を見れるようにしてほしい。上咽頭の刺激が効く人もいるので、Bスポット療法が耳鼻咽喉科できるようにしてほしい。いまはできる病院が少なく自宅で自分でやってる人も多いです。
30代	半年以上	お金が欲しい
30代	1か月～3か月	政府はすみやかに実態を把握し、失業・休学のサポートや生活保障をしてほしい。まだまだ多くの人々が深刻な後遺症の実態を知らず、「たかが後遺症」と軽く見ているので、積極的に後遺症について周知して欲しい。
20代	1年以上	助けて欲しい
40代	半年以上	後遺症の検証、「後遺症というものがある」と明言してもらえるだけでも、ありがたい。就職面接に行っても後遺症なんて、鬱みたいなものでしょ？と扱われることもあります。
20代	1か月～3か月	後遺症とされるケースに多い項目をまとめ、分析すること
40代	1か月～3か月	まずは認めてほしい。ワクチン後遺症もコロナ後遺症の存在も。
40代	半年以上	情報収集、統計をとること、医師への情報共有。
40代	半年以上	無料PCR検査を充実させて後遺症発症者を減らす事。後遺症の認定と治療費の補助。職場などに在宅ワークを認めるなどの柔軟な対応を指示すること。
50代	3か月～半年	生活保護費を上げてほしい。
50代	1か月～3か月	後遺症があることを大々的に表明すること
30代	1か月以内	経済的支援
50代	3か月～半年	5類に格下げせず、これまで以上にコロナ対策に予算を投じてほしい
50代	半年以上	前例の無い疾病なのだから、支援の期間を定めたり短縮するのは如何なものかと思う。 首相のお気に入りの言葉を使うなら、 『異次元の支援体制の継続を検討』して頂きたいトコロです。
30代	1年以上	戻れる職場の確保。退職をさせないで欲しい。自由診療の支援が欲しい。

年齢	期間	
70代	半年以上	①まず、Bスポット療法をする医師が少ないのは、お金にならないからだと言います。しかし、この療法はとても効果があるので、保険点数を上げることが必要だと言います。現在は、良心のある医師のみ実施している状況だと言います。また、Bスポット療法を知らない人も殆どではないでしょうか。②後遺症は自覚症状のないところで進んでいる可能性もありますが、これは既存の脳ドックや心臓ドックなどでわかるかという、それも情報がなくわかりません。コロナ後の後遺症をスクリーニングするような人間ドックがあれば受けたいですし、一方、その情報を集約して研究する機関があれば解明も進むのではないのでしょうか。③さらに、イギリスではITVによると7万人の子供たちが後遺症に苦しみ、ガーディアンでは、14、5歳の子供たちの3分の1が理由はわかりませんが長期欠席という状況だと言います。日本では、欧米のコロナ対策放棄の負の面もろくに知らされていません。このような国々は、いずれにせよ労働力を移民から調達するので痛痒を感じていません。しかし日本はそうではありません。政府はマスクを国民から奪うのであれば、エアロゾル対策として交通機関・学校・公共の場における換気の励行や空気清浄機の導入などを進める必要があります。感染の絶対数を減らすことが必要です。これでは国民は使い捨てです。私たち夫婦は、夏に、ドラッグストア、深夜のスーパーに2回行っただけ、その時にもKF94クラスのマスクをしていたにも関わらず感染しました。スーパーの入り口で、マスクをしていない人と危うくぶつかりそうになった時に感染したのではないかと思われます。感染が広がると、どんなに頑張っても自衛できなくなります。
10代	半年以上	回復に時間がかかること、明確な情報、エビデンスを示して欲しいです。
40代	3か月～半年	もっと後遺症外来を増やして欲しい。 現役で働いている人を優先して受診できるようにしてほしい。
30代	1か月～3か月	診療報酬のアップ
40代	半年以上	65歳以上でないこと、特定疾患でないことから医療的手助けが必要なのに療養型の入院を断られた。改善が見られないまま自宅に帰らないといけない。
40代	3か月～半年	後遺症の存在と症状の周知。 自身でも、これが後遺症なのだと、初めはわかりませんでした。 家族も含め、周囲にも理解されづらく、説明する元気もなかったため、政府の発信があれば、ありがたいと思いました。
20代	1か月～3か月	後遺症外来を増やして欲しい。
40代	3か月～半年	経済支援と医療へのアクセス拡充
40代	1か月～3か月	ワクチン接種には積極的だが、ワクチン後遺症や感染した人への支援が非常に足りないと思います。 病院に行っても治るかどうかわからないからいくつも病院を回るのは辛いです、後遺症外来をしている病院は1ヶ月以上待つようですぐにみてもらえないようです。  経済を回すことも大事ですが、 安心して働く、休める、感染した時に相談できる環境が欲しいです。 pcr検査もコンビニに行く感覚で気軽に無料でできたらいいです。  海外では普通の生活が戻っていますが、 戻れているのは感染者への支援もできているからだと言います。 日本にはそれが足りないです。 感染者はこれからまた増えることがあります。しっかり考えて欲しいです。
30代	半年以上	会社側に理解してくれるように働きかけと、生活保障です。

年齢	期間	
10歳未満	半年以上	受診可能な医療機関の拡充 金銭的な補助
40代	1か月～3か月	後遺症に関する知識の啓蒙 後遺症が残る要因と治療方法の研究 後遺症治療費用の補助
30代	3か月～半年	まずは感染対策は続行してほしいということ、感染を許容するのであれば、後遺症対策は必須。 簡単に後遺症認定できるようにし、その際はせめて治療費負担の補助だけでも出てほしい。 そして、まず後遺症の恐ろしさをしっかり政府が周知してほしい。 知り合いでは頭痛が酷くなりロキソニンが効かなくなってしまって治らないと悩んでいる人もいます。 疲労感が強く、仕事の量を減らすよう頼んだ人もいます。 でもそういう人たちが、休みやすくてできる環境づくりを政府がするべきかと思います。 後遺症大変そうだね、という意識を広げることをお願いしたいです。
10歳未満	1か月～3か月	今後も感染ありきで過ごしていくしかないのならば、後遺症についての研究をもっとすすめたり、後遺症の危険性への啓蒙活動を進めてほしいと思います。 よろしくお願いします。
50代	半年以上	後遺症の啓蒙と専門医を増やして欲しい
10代	半年以上	経済的支援。医療機関への後遺症の治療法
30代	半年以上	タクシー代(病院に行くのが辛い)や針治療などの高額治療費を支援いただきたい
40代	3か月～半年	後遺症を診れる病院を増やしてほしい。 コロナにかかった人へ早い段階から後遺症を残さない情報を伝えてほしい。
30代	3か月～半年	治療費を免除とまでは言いませんが減らして欲しい。
50代	1年以上	調査して治療補助金出すなり、寛解して復職するまである程度生活資金援助や失職しないように補助してほしい。
40代	半年以上	社会全体で、どのような後遺症があるのか、直ぐに治らないケースもあることを周知、理解してもらうことが必要。後遺症を診てもらえる病院や治療法の確立。 人によっては、コロナはただの風邪なんかではない。
60代	3か月～半年	有効な薬の開発。受診できる病院への支援策
30代	半年以上	診察代の負担
60代	半年以上	ワクチン後遺症の病院を作る事。 政府としての金銭的な援助が欲しい。
30代	3か月～半年	・治療法確立のための研究への援助 ・国としての保証制度の確立 ・社会への周知
20代	1か月～3か月	コロナ後遺症に対して、気持ちの問題などと思っている人もいるので、周りの理解を得られるようにニュースで報道して辛さを周知して欲しい

年齢	期間	
60代	1年以上	金銭的援助、休職期間の規定を国で延期をさだめる。
30代	1年以上	コロナを5類にしないで
40代	1年以上	後遺症の治療の研究、調査、医療費の支援
30代	1年以上	治療費の免除と生活費の援助を求めています。またコロナ＆ワクチン後遺症の研究費を増やし然るべき所へ援助するべきです。国が率先して研究を進めるべきです。
40代	半年以上	平畑先生など後遺症治療に詳しい先生たちの研究結果をもとに、コロナ後遺症を新しい病気として認めて支援をして欲しい。
50代	1年以上	とにかく支援金でサポートしてほしい
40代	1か月～3か月	うちの場合は政府にお願いすることは何もしない。早く体調を回復してお茶作りに戻る！それだけ。
40代	1か月～3か月	後遺症外来で適切な治療
30代	半年以上	まず医療機関で後遺症として診断書が欲しいです。そして経済的な補助があればもう少しゆっくり療養できた。療養期間は人それぞれなのに決まった日数しか傷病手当などの制度が使えず、精神的にも不安が高まったかなとおもいます。医療機関での認定があれば会社を休むにも理解してもらえるきっかけにはなりそう。
40代	1か月以内	受診できるようにしてほしい。
30代	3か月～半年	政府は後遺症の実態を把握しているのではないのでしょうか？コロナ後遺症患者への経済的・社会的支援を求めます。コロナ後遺症の社会への周知を求めます。医療の安定した提供と質の向上のために、医療機関への支援を求めます。
20代	1か月～3か月	後遺症への解決策を見つけて欲しい
30代	3か月～半年	後遺症で受診できる病院を増やしてほしい
30代	半年以上	無料のPCR、簡単な医療へのアクセス、医療費の補償、後遺症への様々な補償、と政権交代
50代	3か月～半年	一つの医者で総合的に見てくれるところを作ってほしい
30代	1年以上	金銭的な援助 就労体制(休暇や自宅勤務など)を整えてほしい
20代	1か月～3か月	まず後遺症がある人の統計をとってちゃんと可視化してほしい。そのうえでマスク着用を緩和することはあえて推進せず、後遺症患者への補助を仕組みとして取り入れてほしい。
60代	1か月～3か月	後遺症に対する治療の解明
50代	1か月～3か月	「後遺症」は現在正式な病名ないしは症状名になっているのか、あるとすれば治療法があるのか明らかにして、治療を受けられるようにしてほしい。もし「後遺症」はないとするのであれば、今「後遺症」で苦しんでいると言っている人々の状態は何なのか説明が欲しい。 また、症状ありのコロナ感染者に対して抗ウイルス薬を早期に服用した場合と、受診せず自宅療養した場合で、陰性判定後の後遺症の重さや改善までの期間に違いがあるのかどうかなどもデータを集めて明らかにしてほしい。今、分からないことが多い。

年齢	期間	
50代	3か月～半年	個人には有効な医療機関の紹介と医療費補填。医療機関には最新の研究を推進する。
40代	3か月～半年	データをとり、公表して欲しい。 後遺症により休むことも、理解が広まれば良いと思う。
50代	1か月～3か月	受診でき、回復まで療養でき、休業で収入ダウンした分がまかなわれる、現金給付
30代	1年以上	経済的支援、ヘルパー提供か、食事提供、料理ができない
30代	半年以上	適切な治療法の確立
70代	半年以上	治療費の補助をして欲しいです。
30代	1年以上	後遺症患者に対する支援
40代	1か月～3か月	もっと後遺症を周知のものとし、後遺症外来を増やして欲しい。 また医療費の補助、しばらく休業する場合はきちんと傷病手当を出してもらいたい。 今後も増えるであろう後遺症患者にきちんと対応し、無事社会復帰に繋げることが社会にとっても重要なことではないでしょうか。
40代	1か月～3か月	治療法研究への投資
40代	半年以上	一刻も早く暮らしの支えとなる様な支援金を出していただきたい。また、企業には後遺症についての周知徹底や患者の復職にあたり、不当解雇やそれに準ずる事などが行われる事がないよう、 強力な策をお考えいただきたいです。 例えば障害者雇用ですと、会社も雇用義務があるのでキチンと対応します。 後遺症患者についても復職を後押しし、一定期間就労し、軌道に乗ったら補助金などを出すなど会社にもメリットがある方法、または逆に不当解雇(残念ながら多いとききます)やそれに近い扱いが行われた時の重いペナルティを設けるなどしていただきたいです。
30代	半年以上	現状の政府に求めても何も変わらないと諦めています。金銭的に何かいただけるとしても一時的な物でしょうし、この先何年治療にかかるかわかりません。 あえて言えば、金融政策で経済的に豊かになり、税金引き上げや値上げなど日常生活がこれ以上逼迫しないのを願うばかりです。
30代	半年以上	治療費の支援。社会の後遺症への理解を深める活動。後遺症が長引いて仕事を辞めざるを得なかった人が多数いる。後遺症治療には時間を要することを広めていただき、しいては各企業が休職期間延長等の措置を検討いただけるよう働きかけてほしい。
10代	3か月～半年	存在を認めること、見捨てないこと
40代	1か月～3か月	後遺症患者の実態把握と、休学・休職など重症患者などへの補償。
50代	半年以上	後遺症になったら、有休を使い果たしたら無給になり、医療費はかさむ。生活が困難になります。労災認定も時間がかかるので、傷病手当と労災同時申請、特別許可してもらえませんか。労災認定したら、傷病手当金返金じゃ駄目ですか。安静が一番大事な時期にお金の事で悩み、奔走しなければならなかったのが、つらかった。勤めている病院も勤めている職員を切り捨てるような考え方だったから、助けにはならなかった。実際、労基署に相談に行った帰りの運転中具合が悪くなって、労災の手続きを一度断念していました。

年齢	期間	
20代	3か月～半年	<p>・ワクチンを打とう！というCMやワクチンの安全性の話、マスクを外そう！などの報道ばかりで、ワクチンのリスクや後遺症患者の実態などが取り上げられておらず、政府側からの情報発信に偏りと不信感を感じます。 政府側の意見を推し進めるような発信はやめ、メリットとデメリットをしっかりと開示した誠実な提案を求めます。</p> <p>・他は10番に書いた通りです。</p>
40代	1年以上	後遺症外来を広げて欲しい
50代	1年以上	後遺症専門外来の増設支援、専門医師の部門設立及び支援強化、労働環境での差別や無理解への罰則強化。 後遺症患者への給付金を求めます。
50代	半年以上	あまりにも症状につき、理解されずらいので、後遺症で苦しんでいる人の人数を把握して、どのくらいいるのか、症状等、後遺症について世間に知らしめていただきたい。 また、労災以外でも補助を出していただきたい。
40代	3か月～半年	経済的支援(診断書があれば雇用保険のように月の給料の何割か分の確保)、 診断書があれば、企業側が、規定より休みの日を何日か多く与えるようにする。
50代	1年以上	<p>●医療機関でコロナ後遺症と認定された患者をに対して、医療費助成や、見舞金制度や、生活療養費などで支援する制度があるべき。</p> <p>●後遺症治療のガイドラインの確立</p>
40代	1か月以内	コロナ後遺症に対する経済的支援、対応医療機関の充実等を推進してほしい。  現在の症状は、SNS等で情報収集して自己診断でコロナ後遺症だと考えているが、コロナ後遺症についてもっと明確にして国民に周知してほしい。
30代	半年以上	<p>まずは、コロナも、早く治療出来ていたら、後遺症も少なくすむ事が知られている。 高熱続くコロナの適切な治療がまず先行して必要だと思う。死ななければいい、と、 死者と感染者と医療逼迫の統計のグラフばかり見てないで、コロナの治療を普及すべき。 後遺症の全数把握と、患者の生活実態把握</p> <p>適切で確実な治療に繋がる相談窓口で専門職の配置、そこに予算をつけて抜本的に取り組んで欲しい また医療現場の後遺症の理解と適切な検査普及は勿論、それに関わる費用の支援(特定疾患治療研究事業の様な支援) 後遺症重症度に合わせた生活支援策として障害認定の様な支援が必要 治療も必要だし、社会復帰へのリハビリも必要 社会への理解の普及促進に取り組んで欲しい</p>
20代	半年以上	現状をしっかりと把握し、正しい情報を発信してほしい。
40代	1年以上	治療薬、治療法の研究と確立。働けなくなった人、学校に行けない人の救済。
20代	1年以上	真摯に取り組んでほしい。困っている人の声を無視しないでほしい。
40代	1か月～3か月	重い後遺症の方、長期にわたる後遺症で休学や休職を余儀なくされた方への補償。また、後遺症への理解促進。

年齢	期間	
50代	1か月～3か月	医療機関で陽性判断された人は後追いすることが必要。
40代	1年以上	まずは、無知な医療従事者たちに認知して貰うために、ME/CFS(筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群)の発信をして貰いたい、今回の戦争や災害の被災者もまず口を揃えて言うのは《知って欲しい》の一言である
40代	3か月～半年	治療法の確立。コロナ後遺症患者をフォローする体制の確立。
40代	3か月～半年	長期に渡る治療をサポートしてほしい まだまだ後遺症が増えるであろうから
30代	1年以上	金銭的支援、そして後遺症の解明に努めること。
20代	1か月～3か月	後遺症がある人に給付金を与えて欲しい
30代	1か月～3か月	漢方とEAT療法、喘息の薬で完治したので、治療法を周知してほしいです。
50代	1か月～3か月	後遺症について実態をしっかり把握し、周知すべき。「インフルエンザと同じ」ではないと強く思います。国会での追及、制度充実を期待します。吉良さん、スタッフのみなさん。大事な質問とアンケートの取り組みをありがとうございます。
30代		後遺症への理解。
40代	半年以上	ヘルパーなどの福祉サービスを受けやすくしてほしい
20代	1か月～3か月	そもそも後遺症についてしっかりと啓蒙してほしい。いくらコロナ自体の症状が軽くてもその後の後遺症で苦しむ人は多くいるので、軽々しく「コロナになっても軽症(無症状)なら大丈夫!」「ただの風邪」のようなメッセージは絶対に出さないでほしい。
50代	半年以上	後遺症外来を増やして、もっと医師も向き合ってもらいたい。治せと言わない、寄り添ってほしい。 有効な治療法の研究に力を貸してあげて! もっと後遺症で苦しんでいる人を平等に報道して下さい!
40代	半年以上	診療報酬の引き上げ、実態調査
60代	半年以上	まずは感染を広げないように、後遺症になる人を増やさないようにしてほしい。それすらできてないから先に進まない
30代	半年以上	後遺症外来の全国的普及
30代	半年以上	健全な治療法で対応できる病院を増やすために、点数の見直しをしてほしい。
20代	1年以上	後遺症になったら最初の2ヶ月の休息が大事であることをもっと広めるべき
40代	1年以上	後遺症専門の外来を増やす、後遺症専門の病院にお金を出してください。 後遺症と診断された人に、生活を助ける支援金等をお願いします。
30代	1か月～3か月	金銭的支援をして欲しい。

年齢	期間	
20代	3か月～半年	<p>コロナ後遺症患者への現状把握と、質問10に記入した支援施策の立案および早期実行。</p> <p>詳しくは存じないものの、後遺症発症は働き盛りの世代に多い、と聞き及んでいます。</p> <p>経済的な苦境がつづき、会社内での慢性的な人手不足のなかで、さらに治癒しないままの後遺症患者が生活のため、さまざまなものを切り崩しながら無理してでも働らく人が、これから増えるのではないかと危惧しています。</p> <p>その状況は、短期的に誤魔化すことはできても、数年後のひとびとの生活の足を引さずる透明な足枷になるように思えてなりません。</p> <p>どうか、ひとの命と生活を軽視しないでください。</p>
70代	1年以上	<p>もっと力を入れて下さい。政治家の方々が思ってるより後遺症患者は多いし、苦しんでいる人は多いです。</p>
20代	1か月～3か月	<p>休みやすさがあるの働きやすさ。今の日本は働きすぎ。コロナの影響を受けた企業への支援。もっと国民の生活を知ること、知った上でのコロナ後遺症対策の確立。</p>
10代	3か月～半年	<p>文科省が主体となり、子どもへの救済措置をお願いしたいです。</p>
40代	1年以上	<p>後遺症への知識・理解を広め、後遺症を診る外来の設置指示、医療費補助、経済的支援。相談窓口や心理カウンセラーへのアクセス。</p>
20代	半年以上	<p>治療薬の研究 病気の周知 治療費 生活費の補助</p>
30代	半年以上	<p>保険対応医療機関を増やして欲しい。助成制度があってほしい</p>
40代	1年以上	<p>治療費用だけでも支援してください。</p> <p>食料支援すらない時期から寝込んでます。もちろん検査受けられなかったのも、その後の食料支援も該当していません。</p> <p>初期患者もきちんと支援対象としてください。</p> <p>この体でいつまで生きてくのか、わからないのですから、なんとか対策お願いします。自力でがんばれば、は、無理です。</p>
30代	1年以上	<p>周囲からは元気そうだねと言われるのが辛いです。</p>
50代	3か月～半年	<p>効果的な治療薬の開発、専門の医療体制の整備及び医療費補助等への国を挙げてのバックアップ体制の確立</p>
30代	1年以上	<p>コロナ後遺症に対する世間の理解が必要。医療者の理解が必要。特別扱いしてほしい訳ではなく、症状に苦しんでいる、その結果、仕事が今まで通りできない、退職し仕事復帰ができていない人がいることを知ってほしいです。症状がいつまで続くかわからない、この先ずっと症状が一生続くかもしれない。その場合はどうやって生きていったらいいですか。看護師として病院勤務していなかったらコロナに感染しなかったかもしれない。ワクチンがもっと早く打てていたら後遺症にならなかったかもしれない。でも、看護師として職場復帰したいです。</p> <p>総理大臣が現状把握していないことが、世間の不理解にもつながっている。その中でも親身になって診察して下さる大学病院もあります。私の住んでいる県はコロナ後遺症を診察して下さるのは1カ所の大学病院だけです。コロナ後遺症の診療報酬を上げて下さい。診療報酬を上げるなどして、病院や医師がコロナ後遺症の治療に少しでも関心や意識をもってもらうこと、そこが必要です。コロナ後遺症を認めない、関心がない医師がほとんどだと感じます。そのため治療が受けられないコロナ後遺症の方が多いと感じます。お願いします。助けてください。</p>

年齢	期間	
30代	半年以上	正確な情報発信(散歩で寝たきりになる等)
40代	1か月以内	まずは情報発信だと思います。
50代	1年以上	治療や経済的支援を国でやる事
40代	1年以上	旅行に行かれる人に支援があり、行かれない難病の人に支援が無いのはおかしいです。  医療費の支援 通院の介助 電動車椅子の無料貸出し 療養施設の設置 後遺症外来の受診資格の撤廃 医師の知識不足の問題の解消 無料PCR検査の拡充  まずは感染者を増やさない事です。 5類には反対です。
50代	1年以上	生活費と治療費の支援 後遺症の病理と治療法の研究への支援 医療従事者への支援
50代	1か月～3か月	医師の中にも後遺症を小バカにする者がいる。かと思うと弱みにつけこみエビデンスのないインチキ療法で高額むしりとるところも出てきた。医療関係者への指導は必須。コロナを機に体調が悪い時は堂々と安心して休めるようにして欲しい。みな経済的に苦しいからムリをしてしまう。障害年金のジャッチも厳しすぎる。当座のお金もなければ後遺症外来があっても受診は出来ない。節約しても削れないものはあるのに困ったら生保がある！の掛け声だけ。自己責任と言わずライフラインぐらいは保障して欲しい。下火になっているのは国民の協力あってのことなのだから『コロナ手当て』ぐらいは支給して不安なく療養できるようにして欲しい。
50代	1年以上	全国の都道府県に、後遺症の調査を依頼し、実態調査をすることが大前提だと思います。 労災特別加入制度の周知徹底不足は国の落ち度と考えるので、コロナに関して働けない場合は、コロナ罹患後の社長の労災事後加入でも労災適用できるように特別の配慮をしていただけるように、自民党に提案してほしい。または、別の形で、障害年金より手厚い補償を創設してほしい。 民間の損害保険会社が、コロナ後遺症による就業不能保険の審査を異常なほど時間をかけていて、かつ、都合の良い解釈をして支払わないケースが多いです。金融庁などから保険会社に調査、指導、スムーズな審査、合理的な理由なしに不払いしないように通達なりを出してほしい。
40代	1か月～3か月	後遺症外来を増やしてほしい。積極的に後遺症について国会などで語ることで国民の理解がふかまるのでは。
40代	1年以上	マスクの緩和はまだ早いです。ですが外したい人もいるのは現状。後遺症外来の診療報酬をあげることによってもっと後遺症外来が増えるのは事実です。病院に偏りがあるのでとにかく医療支援、後遺症患者の給付金を直ぐにでもやってもらいたい
40代	半年以上	治療費を助成してほしい。薬の開発
50代	1年以上	支援金

年齢	期間	
10代	1年以上	<p>今、コロナは風邪のような扱いになり、まるでもう過度に心配する事はない疾患として扱われようとしているように思えます。</p> <p>また、子供はコロナに罹っても、後遺症になるのはごく僅か、またすぐに回復する、と世間は認識しているようです。</p> <p>しかし、我が子も含め、コロナ罹患後、一年以上経っても後遺症に苦しみ、未だ普通の生活を送れない子供も、恐らくたくさんいます。</p> <p>家族は疲れ果て、子供のみならず、親も自宅での療養が続く事で活動は制限され、働く事ができません。</p> <p>子供は、病気から早く回復する、勝手に回復すると、思われているようですが、子供には、コロナ治療薬と言われている薬は使えません。その為治療の選択肢は非常に少なく、回復出来ないまま症状が長期化してしまうので、とても深刻です。</p> <p>どうか、子供のコロナ後遺症の問題をもっと取り上げ、子供のコロナ後遺症を見られる医療機関を増やして下さい。</p>
30代	1年以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方自治体任せにせず、厚生労働省中心でコロナ後遺症調査を行うべき。(2022年から一部の部署で限定的な調査を行っているようだが、遅くとも2021年には全国調査を開始すべきだった。)全国のコロナ後遺症患者総数を必ず把握すべき。出来るのにやっていない。行政の怠慢です。仮に、厚労省人員が足りないのであれば、毎年統計を取っている「福祉行政報告例」にコロナ後遺症のページを増設し、福祉行政報告例の係と按分して行うなどやり方はいくらでもあるのでは。行政は、何でも社会問題化してから行動するのではなく、「予防」という考え方を取り入れるべきでは。正直、日本国民のニーズに全く応えられていないことが多すぎるように感じています。</li> <li>・厚生労働省の「罹患後症状のマネジメント」を「コロナ後遺症のマネジメント」と改名すべき。世界的にLong Covidと呼ばれ、社会問題になっているにも関わらず、罹患後症状の呼び名では、事の重大性が伝わりにくい。コロナ後遺症と改名すべき。罹患後症状と呼んでいる時点で、コロナ後遺症患者の感情も逆撫でしていることに気が付くべきでは。</li> <li>・Bスポット療法の診療報酬を引き上げるべき。同時に、コロナ後遺症患者の通院に掛かる費用(治療費・薬代、通院代)の公的補助を求める。倦怠感等は安易に動くことも難しい症状のため、公的扶助が必要不可欠。コロナ後遺症をが原因で仕事を退職した人に対して中・長期的な補償をすべき。コロナ後遺症の倦怠感について、動作困難・立位困難な場合も多い病気だと理解を深めるべき。</li> <li>・コロナ後遺症の存在の周知、注意呼びかけ。</li> <li>・コロナ後遺症患者の社会復帰、職場復帰について、時間が掛かる場合も多いことを周知してもらいたい。政府や自治体が音頭を取って言うと、一般国民への理解度が大きくなる。</li> <li>・5類への変換の即時中止とマスク屋内ルール撤廃の取り消し。</li> </ul> <p>公衆衛生を司る厚労省が、財務省の緊縮財政に負けてどうする。一部の国民はコロナ後遺症対応の病院を増やしてほしい</p>
30代	3か月～半年	
50代	1か月～3か月	だれでも受診しやすい体制作り。
20代	3か月～半年	より多く報道してほしい。 報道の数が少なく、認知数が少なすぎます。
30代	半年以上	後遺症は、どのように治していけば、いいか？ もしくは、どのように付き合っていけばいいのか？情報が欲しいです。
20代	1年以上	後遺症の前に対策をちゃんとしろ！マスク業者を支援して高性能マスクを安く流通させろ！

年齢	期間	
40代	3か月～半年	後遺症があることをまず認めること
30代	半年以上	私は結婚している為主人の収入でひとまず生活はできていますが、私の収入が減った分生活は苦しくなっています。しかし世帯主がいると支援が受けられない為個人でみてほしいと思います。今後症状が残る人も少なくないと思うので障害年金、手帳等の支援が受けられる様になってほしいです。
50代	1年以上	早期発見し全身にウイルスが回りきる前に抗ウイルス薬で止めることが後遺症を防ぐ要なのではと考えています。街角でのPCR検査は発熱があっても受けられるようにして欲しいし、その結果でもって病院では速やかに処方箋を発行できるような仕組みを作って欲しい。 今年の1月段階では東京都が発熱外来を設けている医療施設の一覧を公開していましたがその全国版があると発熱時に右往左往せずに済みそうです。また後遺症診察可能な医療施設のリスト(全国版)を作って配布していただきたい(門前払いが多すぎて無駄足を踏むことがあったし、今でも治療は受けられていない)。同時に、医療施設の後遺症に対する知識が充分とは思えないので、国の方で医療従事者対象の啓発や治療に関するセミナーを開き、治療法や知見を共有しあっていただきたいです。
30代	1か月～3か月	認知度の向上と生活の保証、医療費の補助をお願いしたいです。 コロナ後遺症外来をうたっている所でさえ、適切な治療を受けられるわけではありません。 コロナがなくなるわけでもありません。 安心安全な治療法の確立の為、一生懸命尽力されている先生にも補助金ときちんとみてくださる先生を増やして頂く事をお願いしたいです。
40代	1年以上	経済的支援。
40代	半年以上	寝たきりの状態なので、介護保険を使わせてほしい。治療費援助。家事や通院のサポート業務。ギリギリで生きてます。
30代	3か月～半年	10で答えた事と同じです。
40代	1か月～3か月	各自治体に一箇所以上設置してほしい
50代	1年以上	罹患を境に、長期間、社会生活に大きな影響を受け続けている人たちがいるという現実を、もっと認知され、医療機関にも迫害されず、会社・学校・一般の人にも回復に時間がかかり段階的対応が必要なことが理解が得られるよう、分かりやすい情報を統括的に発信して欲しい。 現在は、情報を得ようとしても各自治体が同様の具体性の少ない発信をしているサイトや、一部の事例の記事サイトなどしか上位に表示されず、様々な知見からの情報が得られ難い。また、支援制度なども分かりにくい。 せめてWHOが発行している罹患後マネジメントのような患者にも分かりやすい情報の普及促進を願う。
20代	1か月～3か月	確立した治療法。薬。
50代	半年以上	金銭的支援を。休職期間を満了すれば職を失い、傷病手当金給付期間を終了すると無収入。
10代	1か月～3か月	まずは、このように苦しんでいる人がいる事を知ってほしい。子どもだから、後遺症ないだろうと思われているのも、問題。理解が得られない事もある。
50代	半年以上	上記参照
50代	1か月～3か月	経済的支援か治療の支援をして欲しいです。

年齢	期間	
30代	1か月～3か月	経済的支援と、後遺症で苦しむ方はこんなにいる、こういう症状があると発表する＝可視化してほしいです。withコロナを選ぶ以上、実際にコロナで苦しむ国民があたかも存在しないような姿勢はあんまりです。国民を見捨てず、国民と一緒に乗り越えていく姿勢と対策を見せてほしいです。
30代	1年以上	ゾコーバのような抗ウイルス治療薬がゆきわたるようにしてください。  後遺症になってしまった人への経済的サポートがあればありがたいです。
40代	1年以上	<p>経済活動を戻すために、コロナは過去のことになりたいのかもしれませんが、コロナ後遺症の患者たちが全く無視されているように感じます。 コロナ自体の治療費は国費だったのに後遺症に対してはなんの補償もないのは疑問です。 タラレバを言ったらキリがないですが、島国なのだから他国に比べて、そもそもコロナを国内に入れないよう水際対策ももつてきたと思いますが当時、春節の観光客を入境させた安倍政権の責任はあると思います。</p> <p>コロナ前の体に戻りたいです。 治療法の研究や、コロナ後遺症の給付などに是非国費を使ってください。また、鍼治療など、コロナ後遺症に効くと言われている治療は保険がきくようにするか、コロナ後遺症の治療は全て無料にしてほしいです。あくまでコロナの治療の延長なのだから。 とにかく早く治りたいですが、今の状況は、頑張って病院に行っても治るわけではなく、鍼などのその他の治療に行っても数回で治るわけではないので出費が嵩んでいきます。 コロナ後遺症の治療が確立されていて、無料で、生活費も最低限保証されていれば、どんどん治療に行けて早く社会復帰することも叶うかもしれません。 現状は、今までの蓄えを切り崩しながら、ちゃんと治せる治療法が見つかるのを待っているような状態です。</p> <p>ちゃんとした治療法がないのも、コロナ後遺症に対しての給付がなく金銭的につらいのも、保険が効かない治療法が多いのも、コロナ後遺症患者たちの社会復帰が遅れている原因です。 こういうときにこそ国費を使って欲しいし、それでコロナ後遺症患者たちが社会復帰して税金払えた方が国にとってもいいと思うのですが。。</p> <p>でも、コロナ後遺症患者たちは本当に置いてけぼりをくらっていると感じている人が多く、周りから認知されていなくて職場でも家庭でも理解されずに苦しんでいる人がたくさんいるので、こうして後遺症の現状を把握するためにアンケートを取ってくださることが、すごくありがたいです。</p>
20代	半年以上	有効な治療法の確立
30代	半年以上	休職期間の延長。医療費などの経済的支援。
50代	1か月～3か月	治療研究を助成して欲しいです。
20代	1年以上	医療機関によって治療の方法が違う。この病気に関しては医療機関の横の繋がりが全くないように感じる。 その繋がりを作り、それぞれの治療法や研究結果を取りまとめて、患者を救う為により効果的な治療法を確立できるようにして欲しい。
20代	半年以上	長期化した場合の治療費の負担が重いので、経済的な支援が受けられたらと希望します。
40代	1年以上	後遺症として受診できる外来を紹介して欲しかった。当時はどこに受診して良いかわからなかった。

年齢	期間	
50代	1年以上	失職に対する手当
30代	1年以上	マスク着用の義務化、PCR検査の拡充と徹底、後遺症外来を専門とする病院への助成、コロナ対策を徹底することの周知を今後も継続していくこと(コロナ禍はまだ終わっていない)
60代	1年以上	後遺症を診てくれる医者を紹介。有効治療法の研究紹介をする(世界の情報収集と紹介)
20代	1年以上	コロナを5類に下げるのは絶対やめて欲しい。感染対策をしなくなったら一瞬で感染爆発してしまう。5類になったら私のようなLongCovid患者だけでなく基礎疾患持ちの方にとっても命や健康を脅かされます。コロナに再感染したら次こそどうなるかわからないですしこれ以上症状が悪化するのも嫌です。今5類じゃないから制限がありつつもある程度の社会生活が保たれているということを理解してほしい。後遺症を防ぐにはまず罹らない事が1番なのでとにかく徹底的な感染対策と感染者の全数把握等は続けて欲しい。
40代	3か月～半年	支援金銭面
30代	1年以上	金銭支援。毎月10万以上の医療費とタクシーで移動が必要なのは続かない
40代	1年以上	受診機会の増加と少数事例への理解を深めること。
30代	3か月～半年	耳鼻科でbスポット治療を受け改善はしています 現行で治療効果があると思われる治療法を政府が発表する コロナ治療薬と同じ様に後遺症治療、薬等の開発を希望します
40代	半年以上	後遺症をきちんと診てくれる病院
30代	1か月～3か月	保険適用にしてほしい
40代	1か月以内	無い。それよりも景気対策を先に願う
30代	半年以上	コロナ後遺症専門の病院を増やすこと。コロナ後遺症による休職での解雇や退職促しを原則禁止とすること。コロナ後遺症の全数と症状を把握し、国民のコロナ後遺症の理解を深める為の情報発信すること。
50代	3か月～半年	保険適用の強化
30代	1か月以内	ゾコーバを飲む方に提供する 後遺症対応の病院を増やす 後遺症の治療費も国が負担する 後遺症の新薬開発 後遺症での休職を可能とする
30代	半年以上	有効な薬等、可能性があるものについては、認可を早めにおろしてほしい。効果な治療法も、保険適用にして欲しい。

年齢	期間	
40代	1か月～3か月	<p>1 治療費が高額になることが多いので、医療費の助成をしてほしい。主に後遺症の治療は漢方薬が用いられ、自費診療になることなど多いです。また、これといって明確な治療法があるわけではないので、様々な治療を試していくこととなります。寛解するまでに、期間も長いとされます。</p> <p>2 後遺症外来は東京都は設置されつつあるが、オンラインでも受診できる医療機関を増やしてほしい。寝たきりで受診することすら困難な患者がいるということを知って欲しいです</p> <p>3 重症化すると、家事すら困難になります。障害者でも、高齢者でもないのに、福祉サービスを利用することができません。一人暮らしであれば確実に孤立していきます。食事を作ることができないと言うのは、命に関わります。必要なサポートが受けられるよう制度を整備してほしい</p>
50代	半年以上	データを集めること、後遺症治療をする医療機関を支援すること。
40代	1か月～3か月	休業・退職等の経済的支援。後遺症外来(オンライン、往診含む)の増設
40代	1年以上	専門医の普及と、医療の改善を求めます。
50代	1か月～3か月	積極的に保険で、細部まで検査をしてほしい
50代	半年以上	ワクチンを打ちましよう一辺倒じゃなく中庸な立場で事実を隠すことなくメディアも含めて真剣に考えてほしい。
60代	1か月以内	医療費全額負担
50代	1か月～3か月	正確な罹患率や症状の統計をとり実態を明らかにすること、治療法の国際的な共同による開発。レアな後遺症も検出して取りこぼしをできるだけなくしてください。
10代	半年以上	ワクチン接種ワクチン接種とばかり言っていないで、今後増える後遺症に対してもっと研究をしてください。世界からどんどん取り残されています。
40代	1か月～3か月	とにかく感染を拡大させないこと。 感染対策を緩めるなんてのもっての外です。  後遺症の保証も！
40代	1か月～3か月	経済支援の他に、症状を追跡調査してもらえたらと思う。
40代	1か月～3か月	休業補償、患者の休業・社会復帰に向けた指針を出して企業が理解し制度を整備するようにはしていただきたい。
40代	1年以上	<p>5類に反対です。 症状ある人も無い人も、医療機関外でPCR検査をすぐに安価で受けられる行政による仕組みが欲しいです。できれば郵送がいいです。外出困難だからです。</p> <p>私は保健所からPCR検査拒否された後、医師の知識不足によりPCR検査を受けさせてもらえませんでした。</p> <p>感染性があるか無いか分からない人がごちゃ混ぜに医療機関に押し寄せたら、感染拡大します。</p> <p>後遺症の治療にしても、コロナ感染拡大期には耳鼻科に治療に行くことも控えています。再感性が怖いです。</p>
40代	1か月～3か月	各市町村に診療体制を整えてほしい

年齢	期間	
20代	3か月～半年	後遺症といっても症状や程度はさまざまですが、日常生活すらまともに送れない方もいます。確率的には少数なのかもしれませんが、まずは認知度が高まればと思います。
40代	1年以上	コロナ後遺症の研究をきちんとして欲しい
40代	1年以上	今は実家にいますが、両親も70代の高齢で国民年金の生活です。正直、親のお金に頼ることはできません。でも生活保護を受けることもできません。医療費はかかるし、働けないし、どうしたらいいのでしょうか。死ねと言われているようです。
50代	半年以上	現実の把握、理解しようと言う姿勢 大変な事態だと認めること。 諸外国の情報の把握。 政府が大々的に問題視しないとマスコミも世間も無関心で理解の無いままだと思う。
40代	1か月～3か月	仕事への影響を受けた人に対して支援が必要。後遺症を診察できる医師が都市部に偏っている。後遺症になった事で、日常生活もままならず、苦しい思いをしている人がたくさんいる事を、国として見過ごさないで欲しい。
10代	3か月～半年	自立支援
50代	1か月～3か月	統計を出し.実態を調べまず国民に現実を知らせ警戒する様促す。医師会とともに後遺症治療を一般化し広げる。後遺症治療費も補償費をつける。 又.我が家の様に休む迄しなくても.通常時間は働けないなどの人は.傷病手当もつかないのに 実質賃金は下がるので何か補償が必要。 又.体調が悪いのが長期に続く為.又感染したか？ と平時不安になる。 3月いっぱい無料検査が無くなるが 無料検査を5類引き下げ後も続けて欲しい。 間違いなくマスクも外し.隔離も事実上無くなるので今後感染者が増える。5類移行後は院内クラスターで医療従事者の感染により医療従事者不足で 医療崩壊どころで無くなる可能性が高い。 感染数開示も無くなるので庶民は. 知らない間に感染し.死亡し..死亡後検査で陽性判明が間違いなく増加し.超過死亡も増える。 日本は何の対策もうたず... 世界で687万人も死者を出し続けている感染症を 無い事にしようとしているのが酷すぎる。 国会でもコロナ質疑がもう出ないのも命をないがしろにしているし。 7万2千人以上の死者の方の苦しみを教訓にさえ出来ていざご遺族に失礼だと思う。
10代	半年以上	後遺症の治療法を、国が率先して指揮を取り、確立してほしい。 病院も拡充してほしい。
60代	1か月以内	正確な情報を出してほしい。
60代	1か月～3か月	まずはワクチン接種を止めること。自分の周りの未接種者は後遺症がほとんど無いです。 ワクチン後遺症とコロナ後遺症を調べ 対応出来る医療機関を増やし助成すること。
60代	1か月～3か月	医療費全額保障

年齢	期間	
50代	1年以上	私だけではなく、コロナ後遺症とコロナワクチン後遺症が混在しているのではと感じております。両者を見分けるのが難しいのであれば、その特定を待たずに救済の対策として、医療の支援が受けやすくなることを望んでおります。コロナワクチンの薬害に正面から取り組み、後遺症を治す研究を進めてほしいです。
50代	1か月～3か月	実態を把握し、真剣な後遺症対策を。
50代	1年以上	早期のPCR検査と、抗ウイルス薬の投与を誰もが無料または安価で受けられる体制を作って欲しい。 その上で、後遺症外来が増え、または、内科など普通の診療所で後遺症を普通に診てもらえるよう、例えば、診療報酬を上げるなどの改善を望みます。
10代	半年以上	科学的な医療情報を公に公表してほしい。隠し事が無いか、今迄の政府の様々な対応を見ていると不安です。せめてG7並の透明性をもってもらいたいが、原発施策、沖縄基地対応、統一教会問題、もりかけ桜サントリー、五輪汚職を見ると中国、ロシア、北朝鮮に近づきつつ有ります。
50代	1年以上	調査ほしい
70代	1か月以内	コロナを軽く見てはいけない 後遺症を含めしっかりと対応していただきたい
10代	1か月～3か月	後遺症があるということを認めること
50代	半年以上	異常があれば誰でもPCR検査を受けられ、陽性ならすぐにパキロビットを処方されるようにする事を求めます。 アメリカのtest&treat政策は、コロナ対策や後遺症に奏功していると聞きました。
30代	1年以上	後遺症患者の実態把握、治療研究の促進、障害保険の適用、働き先の紹介、休暇・短時間・短日で働きやすい職場環境の整備徹底の指示
40代	3か月～半年	見て見ぬ振りをせずきちんとした統計を取り、コロナ後遺症のメカニズムの解明に努めてほしい。新型コロナウイルスに限らず、自分達にとって都合の悪いことを見て見ぬ振りするのは本当にやめてほしい。
40代	3か月～半年	コロナを甘く見過ぎ。生活面、後遺症診療きちんと保証すべき。国民を守れてない。
40代	1か月～3か月	薬代もばかにならないから資金援助。
40代	3か月～半年	社会全体にコロナ後遺症について教育を。治療できる医療機関の整備を。コロナ後遺症に対して治療経験がない医師への教育を。医療従事者に対してコロナ後遺症に対しての教育や対応などを徹底させて心身ともに穏やかに療養できるサポート体制を整備してほしい。医療者からの心無い言動は患者を追い詰める。 コロナ後遺症患者に対しての経済的な支援体制を早急に整備してほしい。働けなくなることに對しての不安は大きく、経済的な支援を受けることができないことは生きていく保証もないと感じてしまう。自死する人もいる。職場が労災申請に非協力的でさらに精神的に追い詰められる。コロナ後遺症を通して、職場の労働安全衛生が整備されていないことに気がついた。労働安全衛生が守られていない職場を摘発し、罰してほしい。労働安全衛生法にコロナ後遺症患者が社会復帰する際の健康安全配慮について項目を追記してほしい。その項目を違反した事業所を罰する法律を制定してほしい。
20代	半年以上	経済的支援、補償
40代	半年以上	一度感染した方々で症状がある方は全て血液検査等で数値化してほしい

年齢	期間	
30代	半年以上	コロナ罹患後にすぐに仕事復帰するのではなく十分に休養が必要であることを国民に周知すべきだ。知っていたら、療養を十分にとり復帰することでコロナ後遺症にならなかったと思う。5類に引き下げるのであれば尚更。ただの風邪ではないことを国会議員が十分に理解する必要がある。コロナ後遺症に関わる治療費を公費負担にする必要がある。既に20万以上の医療費がかかっている。
50代	1か月～3か月	軽い後遺症であっても、不便ですしお金はかかります。感染しない方がずっとマシです。
40代	半年以上	国をあげて研究や治療に取り組んで欲しい。 治療してくれる病院はまだ少なく明らかにどこもキャパオーバーになっている。
50代	半年以上	自民党には何も期待していません。一刻も早く政権交代してもらいたいです。
50代	1年以上	そもそも後遺症が起こる前に感染対策をキッチリして欲しい。そして、実態を冷静に公表周知して欲しい。 特に10代の方々は受験も控え将来もあるので 後遺症で脳の機能が落ちてからでは取り返しがつかないです。
40代	1年以上	まずは疾患として国民に広く周知徹底して頂くこと。後遺症患者は動くことができないケースも多々あります。遠くまで通院できないのです。各都道府県に複数の診療所が必要です。なぜ診療所が増えないかという、診療報酬の低さが主な要因、また、コロナ後遺症を理解している医師が少なすぎるのだと思います。とにかく理解のある医師のいる診療所を増やして頂きたいです。
40代	1か月以内	後遺症の実態をきちんと調査してほしい
40代	1か月～3か月	陽性時から病院にかかれるようにしてほしい。後遺症の休養措置があれば休みやすい。
40代	1か月～3か月	医療機関にかかれるという保証。医療費や生活費の支援。
40代	1か月～3か月	介護タクシーなどを利用する際の助成金など
30代	1年以上	後遺症患者への経済的補償、難病指定、理解を求めます。
50代	半年以上	きちんと後遺症について集計、研究して、門戸の広い病院を作してほしいです。

年齢	期間	
50代	1か月～3か月	<p>まだまだ医師が後遺症を正しく認知出来ていない。厚労省がしっかり調査統計を取らず医師会との伝達も出来ていない様に感じる。</p> <p>国、自治体として後遺症の正しい理解と国民への報道が大事。後遺症は長期に渡る為、なんらかの金銭的サポートや福祉が無いと結局、体調の悪い人が増え経済も回らなくなる。又、5/8以降は5類により間違いなく院内感染が増え医療従事者不足で医療崩壊どころでは無い状況になるでしょう。</p> <p>事実的に隔離が無くなるので市中感染の広がり凄い事になるが...定点観測の為数字が開示されずコロナの感染数報道も無くなるでしょう。</p> <p>知らない間に急に体調を崩して死亡し。大阪の様に死後に検査されコロナが判明したり超過死亡が増えるだけです。</p> <p>感染症は結局、早期に発見し早期に治療し隔離して外でうつさない。それしかありません。</p> <p>国会もコロナ質疑も少なくマスクを外して質疑される方ばかりで今まで亡くなった方のご遺族は辛くて見てられないと思います。</p> <p>やはり7万2千人以上の死を無駄にはしてはいけません。命があれば健康があれば働け生きていきます</p> <p>健康でなければ経済も同性婚も少子化対策も何もありません。</p> <p>大阪で2020年個票を出していた時から毎日コロナ状況を記録し続けコロナ対策会議も記録を取り</p> <p>自分も罹患し府の行政が何の役にもたたなかったのを見にしみて体験しました。</p> <p>もう少し感染症を科学的に捉え国民の命と健康を守って下さい。</p>
30代	1年以上	生活の補償
50代	1年以上	後遺症を認めて、障害年金をすぐに受けたい。
10歳未満	1年以上	個別の経済支援、専門医による後遺症専門外来、入院治療までできる医療機関を全国にしっかり設けてほしい。
40代	半年以上	<p>後遺症治療の保険点数を上げて、後遺症外来を増やして欲しい。</p> <p>後遺症治療のガイドラインを作って欲しい。</p> <p>後遺症患者の雇用を守って欲しい。</p>
50代	3か月～半年	契約社員切りからの業務委託として勤務を10年近く続けています。後遺症がつかなくても、一ヵ月単位の業務委託契約なので、休むことはできません。会社経由の対策や保証だけでなく、こうした弱い立場の人間にも届く支援を求めます。